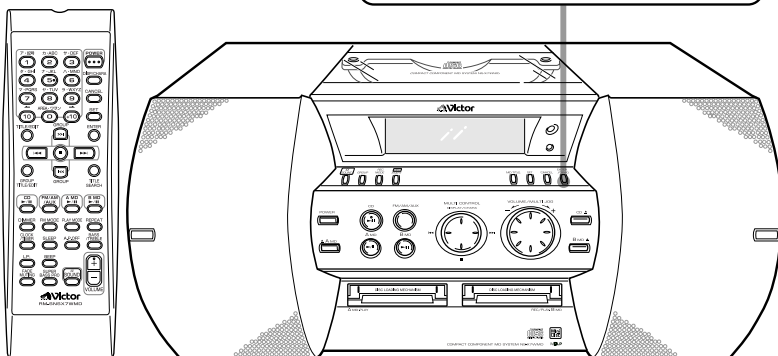
取扱説明書

コンパクトコンポーネントMDシステム

型名 NS-X7WMD-S(シルバー) -B(ブラック)

● デモ表示について

表示窓のデモ表示を「入⇔切」することができます。デモ表示に入らないようにするときは、本体のENTER/DEMOボタンを押してください。「DEMO MODE OFF!」が表示され解除されます。詳しくは13ページをご覧ください。

ENTER/DEMO

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　MDLP　Mini Disc

● もくじは2ページにあります。

ーお買いあげありがとうございますー

⚠ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3〜6ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0816-001A

もくじ

お使いになる前に　ページ

準備　ページ

聞く　ページ

録音する(B MD)　ページ

編集する　ページ

他の機器・タイマーを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

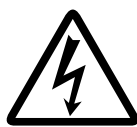
● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

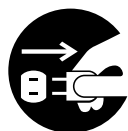
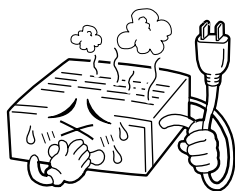
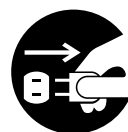
行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

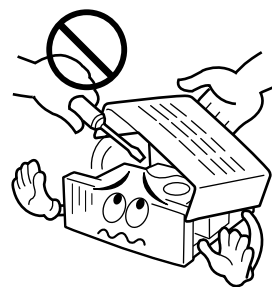
万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

● 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

● 内部に水や異物が入ってしまったとき
● 落としたり、破損したとき
● 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

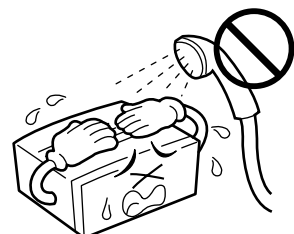
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

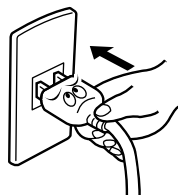
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

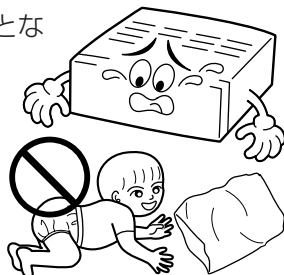
感電の原因となります。

接触禁止

表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する。

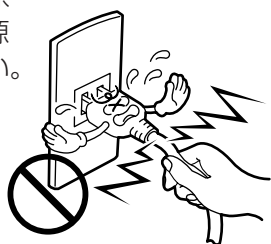
表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

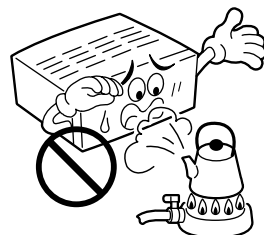
本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

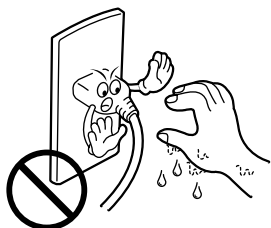
電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

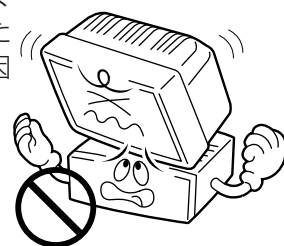
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

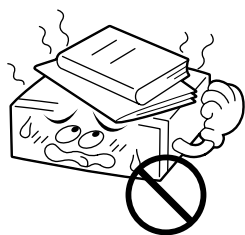
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本機の上に重い物を置かない。

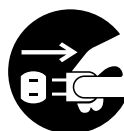
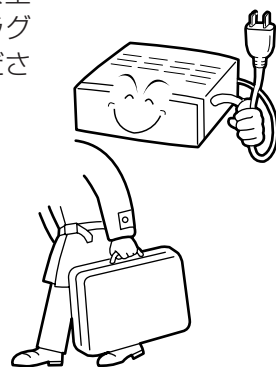
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

安全上のご注意（つづき） ーはじめにお読みくださいー

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

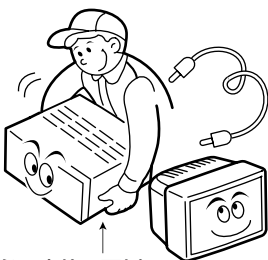
電源プラグを抜く

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

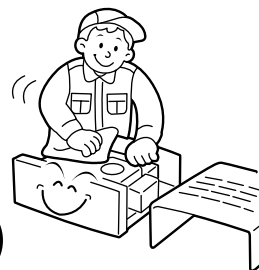
手を挟まれないよう注意

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

必ず本体の両側面の下部を持つ

３年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

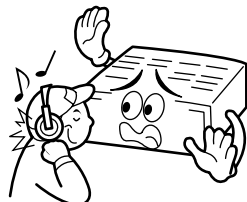
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

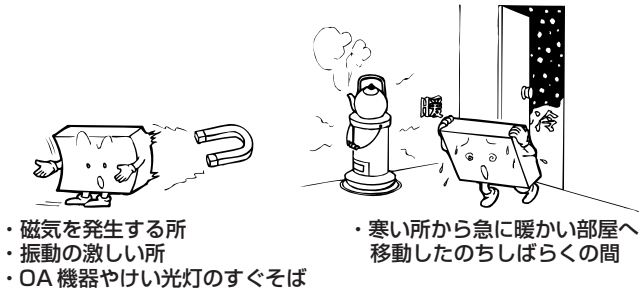
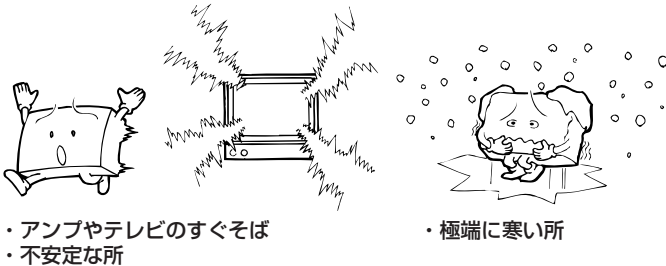
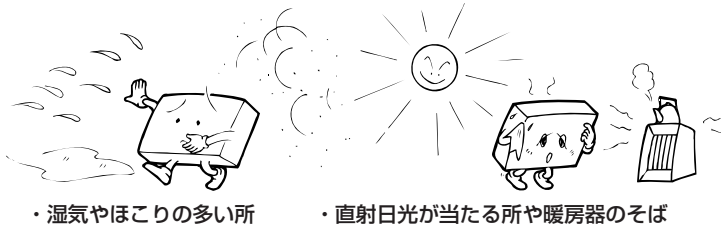
使用上のご注意

本機やCD、MDの置き場所について

●故障などを防止するため次の場所は避けてください。

・湿気やほこりの多い所　・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所
・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば
・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

露がついたら

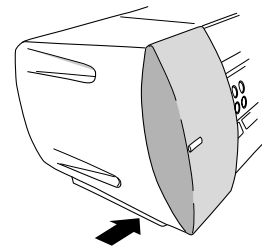
次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いてCDやMDが正しく演奏できない場合があります。

●暖房を始めた直後
●湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
●冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1～2時間待ってからお使いください。

ヘッドホンについて

●ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

■ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

本機を移動するときは

本機を移動するときは、必ず本体下部の両側（図の矢印部分）を持ってください。
他の部分を持つと指が滑って落下したりけがの原因となります。

付属品の確認

お使いになる前に付属品をお確かめください。

リモコン
RM-SNSX7WMD
（1個）

単3形乾電池
（2本）（リモコン動作確認用）

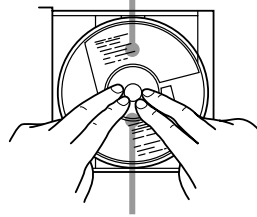
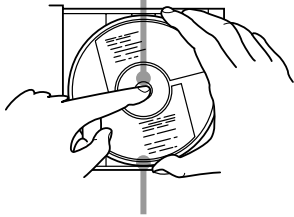
電源コード（1本）

FM簡易型アンテナ
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

CDについて

CDの取り扱いかた

- ケースからの出し入れ

- CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。

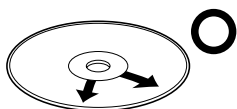
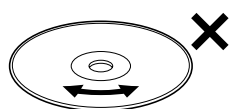
- 文字のある面に[COMPACT disc DIGITAL AUDIO]、[COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable]または[COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable]のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- MP 3 には対応しておりません。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

CDのお手入れ

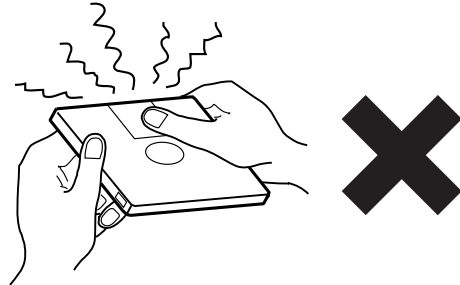
演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

MDについて

MDの取り扱いかた

シャッターは開けないで

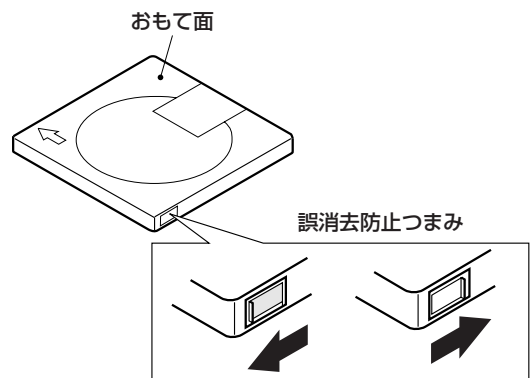
シャッターは開かないようにロックされています。無理に開けようとするとディスクがこわれます。

置き場所に気をつけて

次のようなところには置かないでください。
・直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
・風呂場など湿気の多いところ
・海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ
ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

定期的にお手入れを

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

大切な録音を消さないために

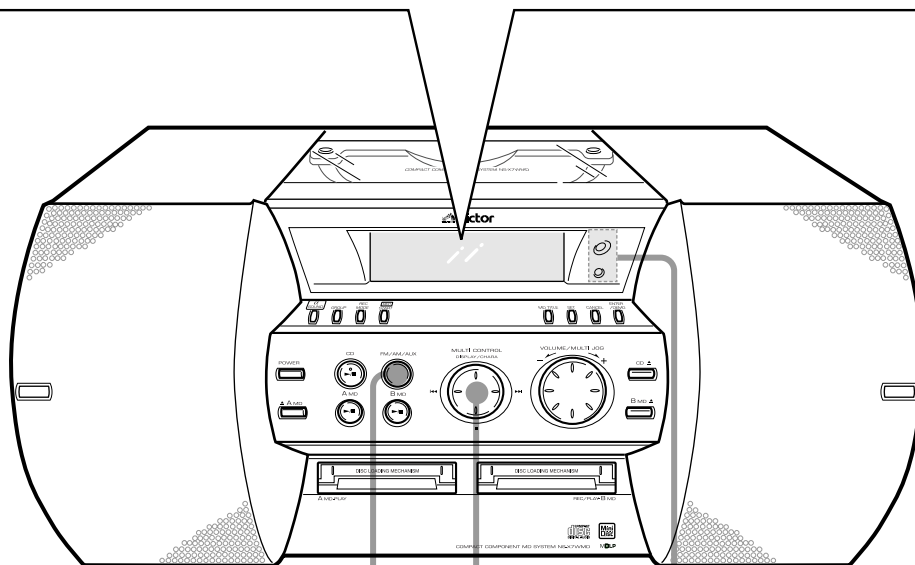
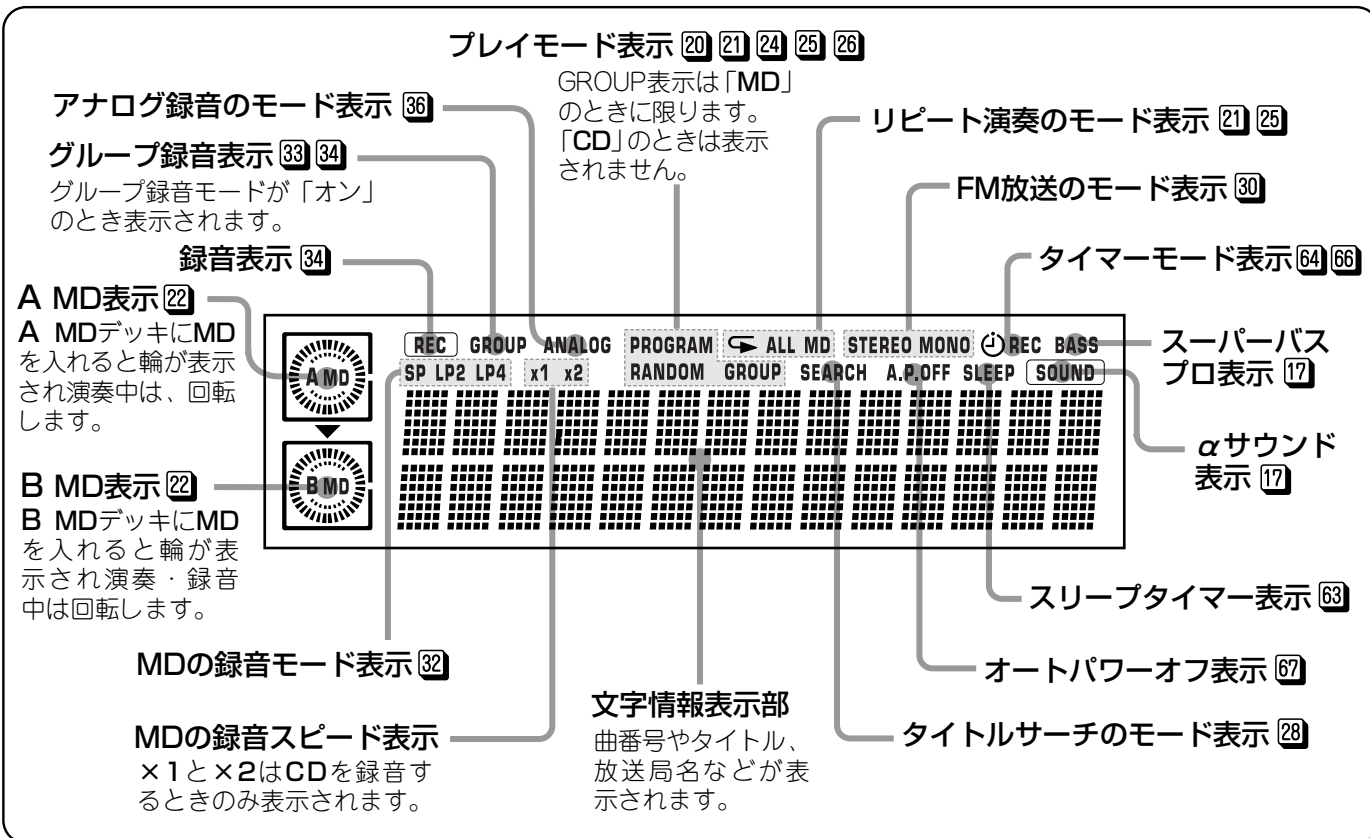
録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

〈お知らせ〉

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは▷などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

各部の名前 ―□内の数字のページに説明があります。―

本　体

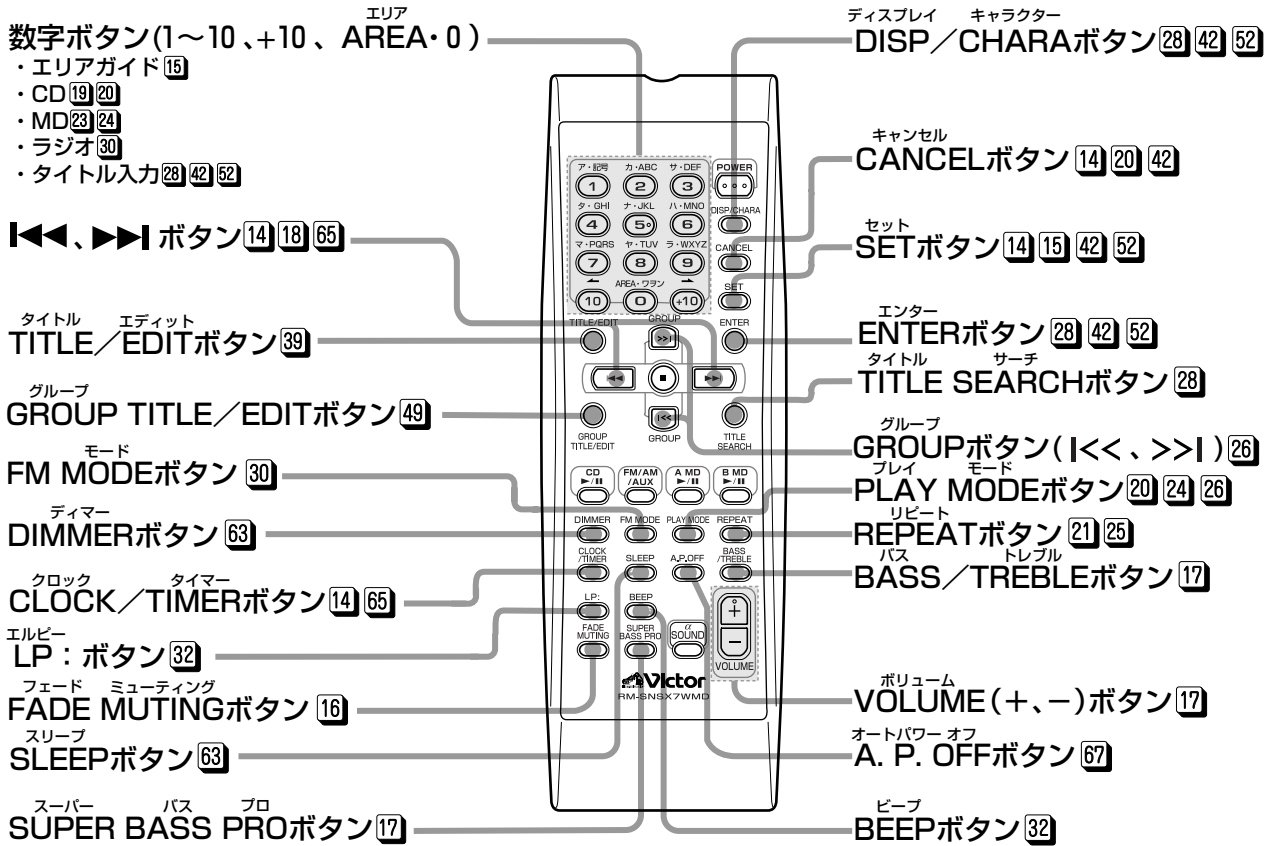
	「CD」	「A MD」と「B MD」
◄◄と►►I	曲の頭出し、早送り/早戻し 18	曲の頭出し、早送り/早戻し 22
■	停止 18	停止 22
DISPLAY（ディスプレイ）/CHARA（キャラクター）	表示窓の表示切換 19	表示窓の表示切換 23 文字の種類を選ぶ 40

各部の名前(つづき) —□内の数字のページに説明があります。—

本体

MULTI CONTROL(マルチ コントロール)ボタン

ソース(音源)によって働きが異なります。

	ラジオ(FMまたはAM)
I◀◀と▶▶I	オート選局/マニュアル選局 30
DISPLAY /CHARA	表示窓の表示切換 14

リモコン

説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

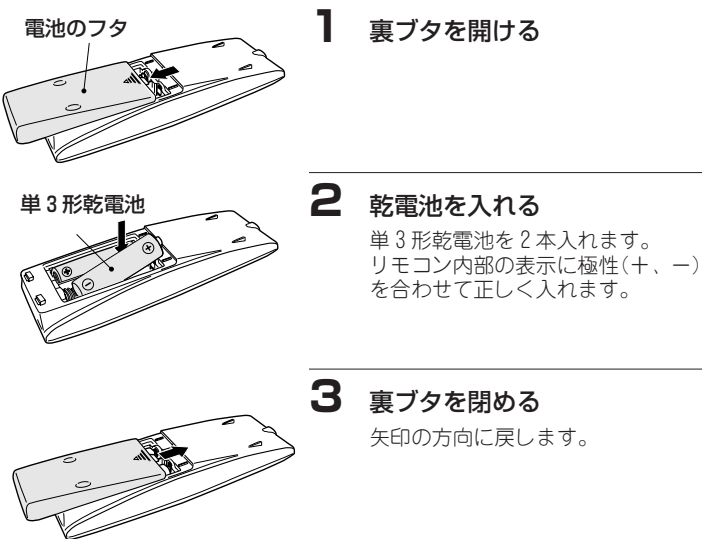
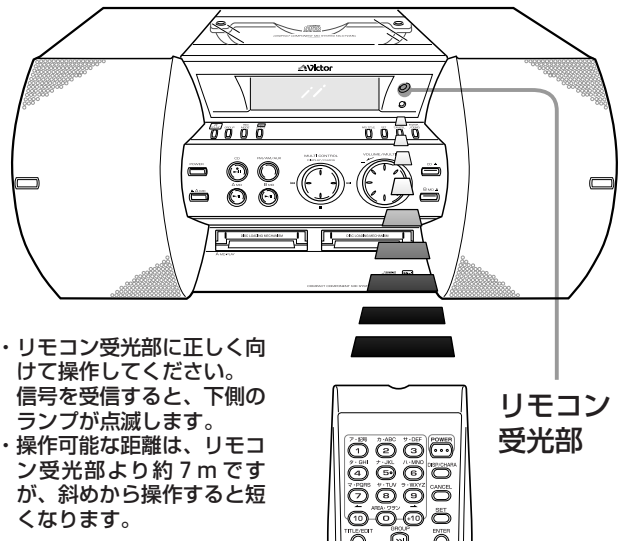
リモコンの乾電池の入れかた

1 裏ブタを開ける

2 乾電池を入れる

単 3 形乾電池を 2 本入れます。
リモコン内部の表示に極性(＋、－)を合わせて正しく入れます。

3 裏ブタを閉める

矢印の方向に戻します。

● リモコン操作のしかた

・リモコン受光部に正しく向けて操作してください。信号を受信すると、下側のランプが点滅します。
・操作可能な距離は、リモコン受光部より約 7 m ですが、斜めから操作すると短くなります。

〈お知らせ〉

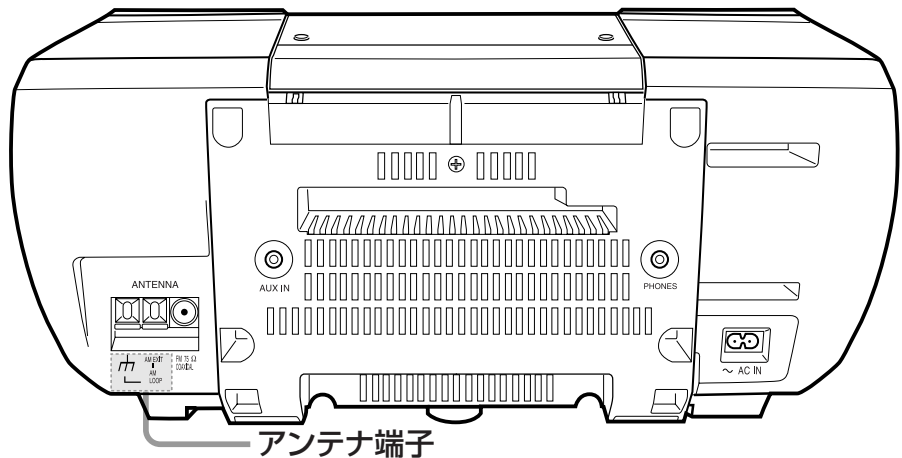
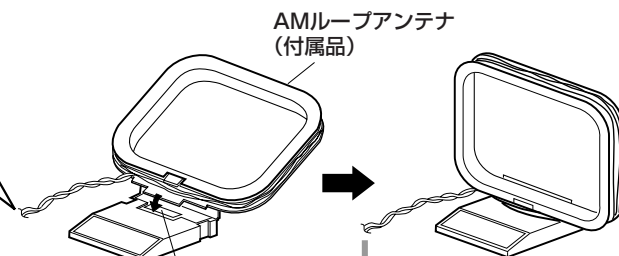
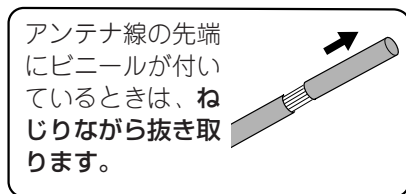
● リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗してきています。 2 本とも新しい電池(単 3 形アルカリ乾電池など)に交換してください。
● 付属の乾電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きは、リモコン内部の表示通り正しく入れてください。
● リモコンを落としたり,強い衝撃を与えないでください。
● 他のラジオにノイズ(雑音)が入るときは、離してお使いください。
● 動作しないことを避けるため、次のような状態で使用しないでください。
  ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき
  ・リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げる物があるとき

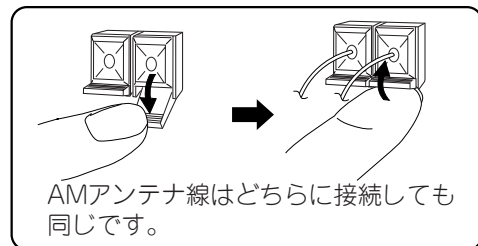
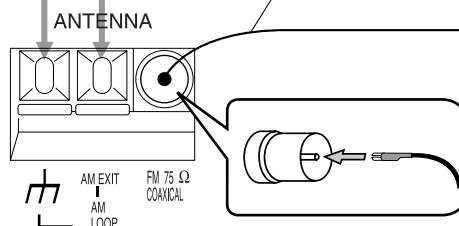
接続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

アンテナの接続と調節

〈お知らせ〉
- アンテナを接続しないと、放送を聞くことはできません。
- AMループアンテナは、金属製の机の上やパソコン、テレビなどの近くに置かないでください。受信状態が悪くなります。

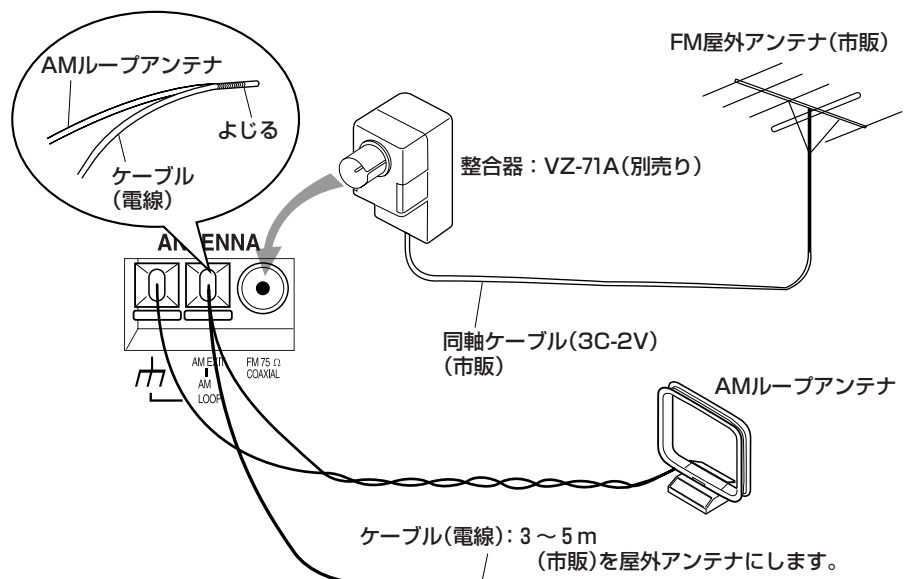
● 付属のアンテナの接続と調節

アンテナ線の先端にビニールが付いているときは、**ねじりながら抜き取ります。**

・本体からできるだけ離し、左右に回してみて最も良く受信できる所に置きます。
（束ねてある線はよく伸ばして使ってください）

AMアンテナ線はどちらに接続しても同じです。

FM簡易型アンテナ（付属品）

・放送局を受信し、最も良く受信できる位置に「ピーン」と伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

● 屋外アンテナの接続

・FM放送の場合、付属の簡易型アンテナでは雑音が多くて聞きにくいときは、市販の屋外用のFMアンテナを使います。マンションなどでは、壁の共聴アンテナ端子も利用できます。

・AM放送の場合、市販のケーブル（3〜5ｍの電線）を使います。

〈お知らせ〉
- 屋外アンテナの設置は、技術と経験を必要としますので詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 電波状態によっては、FMフィーダーアンテナ：CN-511A（別売り）がご利用になれます。
- アンテナを接続したら、コードを引いてみてしっかり接続されているか確認してください。

・AMループアンテナも一緒に接続しておきます。
ケーブル（電線）は、窓際や屋外になるべく高く水平に張ると効果的です。

他の機器、電源コードの接続

PHONES端子
市販のヘッドホンをつなぎます。
プラグを接続すると、スピーカーから音声が出なくなります。

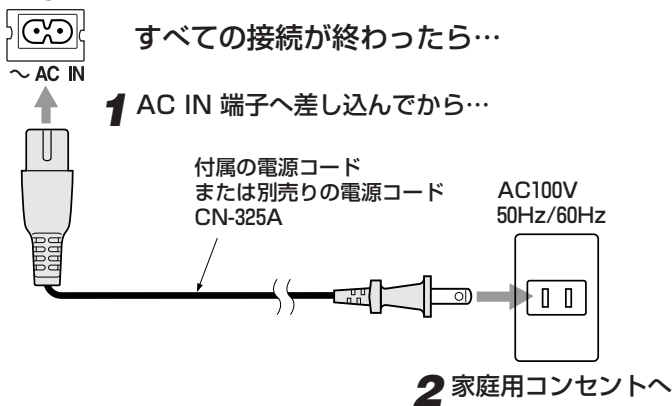
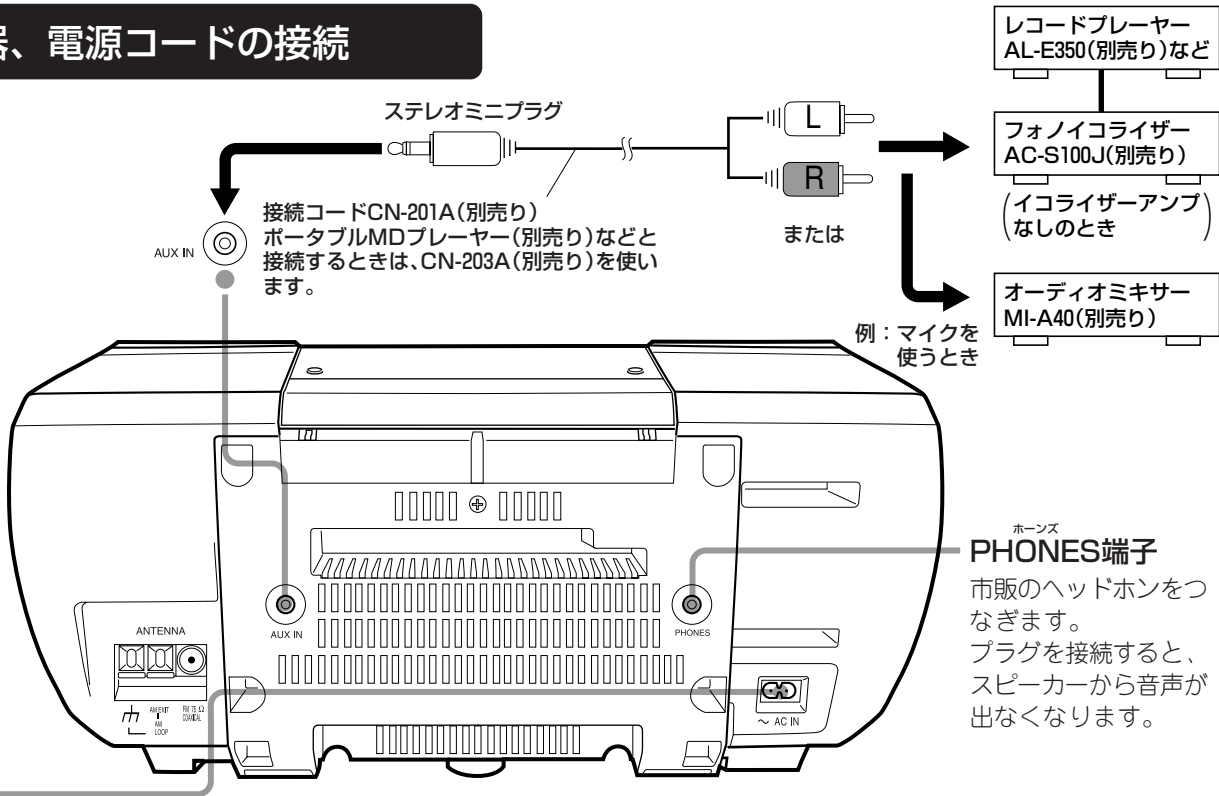
～AC IN

すべての接続が終わったら…

1 AC IN 端子へ差し込んでから…

付属の電源コード
または別売りの電源コード
CN-325A

AC100V
50Hz/60Hz

2 家庭用コンセントへ

〈お知らせ〉

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：**CN-325A**をお買い求めください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。
(電源が切れていても、電源コードが接続されていると約**3 W**の電力を消費します)

ご注意

- **本機を持ち運びするときは**
電源コードやアンテナ線、他の機器との接続コードを事前に外し、両側面の下側を持って運んでください。特に屋外用の**FM**アンテナを接続しているときは、ご注意ください。
- 1分以上の停電や電源コードがコンセントから抜いてあると、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

表示窓のデモ表示について

本機にはデモ表示機能があり、電源コードを接続すると自動で <DEMO MODE> DEMO START! が表示され、本機の機能などが表示窓にくり返し表示されます。
なお、デモ表示中でも本機の操作はできます(デモは一時停止)。

●デモ表示を解除するには(電源「入／切」に関係なく)

ENTER
／DEMO

➡ DEMO MODE OFF!

・押すごとに
「オフ⇔オン」
が選べます。

デモモードを「オフ」にしたとき
(デモ表示には入りません)

●デモモードが「オン」の場合、電源を「切」にしても2分後に自動でデモ表示に入ります。

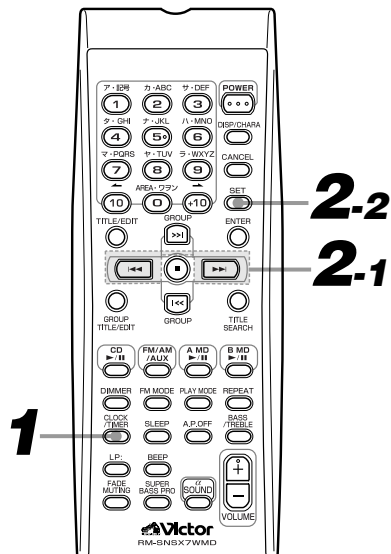
●デモ表示の動作に入らなくするには

1 電源コードを本機から外す
2 ■(停止)と**ENTER/DEMO**を押したまま電源コードを接続する

⬇

「DEMO MODE BACK UP!」が表示されます。

・このあと■(停止)と**ENTER/DEMO**を離すとデモ表示に入ります。

3 もう一度**ENTER/DEMO**を押す
「DEMO MODE OFF!」が表示され、電源コードを抜き差ししてもデモ表示の動作には入らなくなります。
・元に戻すには
もう一度手順**1**と**2**の操作をします。
「DEMO MODE RESET!」が表示され、お買い上げの状態に戻ります。

準備

時計の合わせかた（現在時刻の設定） ー番号順に操作します。ー

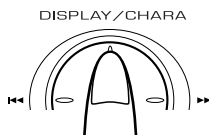
●例：午後１時15分（13：15）に合わせるには…

● **正確に時刻を合わせるには**

テレビの時刻表示や電話の時報サービス等を利用してください。時刻を合わせ直すときは、リモコンのCLOCK/TIMERボタンを３回押したあと左記の**2**の操作をします。

● **使用中に時刻を知るには…（MDが入っていないとき）**

本体のDISPLAY/CHARAボタンまたはリモコンのDISP/CHARAボタンを押します。元の表示に戻すときは、もう一度押します。

本　体

リモコン

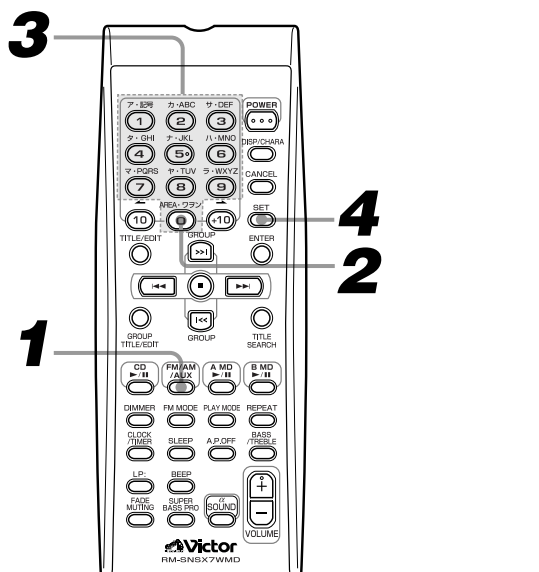
・B MDデッキにMDが入っているときと、いないときで表示の順番が異なります。
➡㉓ページ参照

● **１分以上の停電や電源コードが抜いてあったときは…**

時刻表示が取り消され0:00表示の点滅と「CLOCK ADJUST」表示に戻ります。このようなときは、左記**1**〜**2**の操作で時刻を合わせ直してください。

〈お知らせ〉

- 電源「切」で時計を合わせたときは、設定が終わると現在時刻の表示になります。
- 「分」表示を合わせているとき、リモコンのCANCELボタンを押すと「時」表示の点滅に戻せます。「時」表示を修正することができます。
- 時計を合わせておくと、タイマーを利用することができます。合わせないと利用できません。
- 時計の精度は…
  月におよそ１分程度のズレを生じます。タイマーをお使いになるときは、時々時刻を合わせ直してください。

市外局番で放送局を記憶させる（エリアガイド機能）

● 市外局番を入力するだけで、あなたの地域で受信できる放送局が自動で記憶（メモリー）させることができます。

1 FM/AM/AUXを押す

・電源が入り、バンドが表示されます。
（FMまたはAMのどちらでもかまいません）
・「AUX」が表示されたときは、もう一度押します。

2 AREA・0を押す

カーソル（点滅）

10秒以内に

3 市外局番の残りの数字を数字ボタン（1～9、0）で入力する

例：市外局番が045の場合は4と5を押す

・押した数字（例のときは045）が表示窓に表示されます。

10秒以内に

4 SETを押す➡メモリー開始

・放送局名を表示しながらAM➡FMの順に周波数の低い放送局からメモリーしていきます。AM放送は最大15局、FM放送は最大30局までです。
・メモリーが終了すると、FM放送の最初の放送局を受信し局名を表示します。

● 市外局番は…

あなたのお住まいの地域のAM放送を、本機から呼び出し、メモリーするために使います。別の市外局番を入力すると、その地域のAM放送になります。

● エリアガイド機能によりAM放送は、本機に内蔵されている放送局（68～69ページ参照）を呼び出してメモリーします。
FM放送は、市外局番03と06を入力したとき以外はあなたの地域で受信できる放送局を76.0～90.0MHzの間で自動選局し、メモリーします。
市外局番03と06の場合、本機に内蔵されている放送局（03は12局、06は7局）を呼び出してメモリーします。

● 市外局番を間違えたときは…

左記**2**～**4**の操作をやり直してください。

● メモリー後FM放送が76.0MHz以外表示されないときは…

放送局がメモリーされておりません。受信状態の良い所にアンテナを設置してから操作し直してください。

● 市外局番が5ケタまたは6ケタ地域の場合…

頭から4ケタを入力し、SETボタンを押してください。

● 市外局番が変更になったときは…

変更される前の市外局番を入力し、SETボタンを押してください。

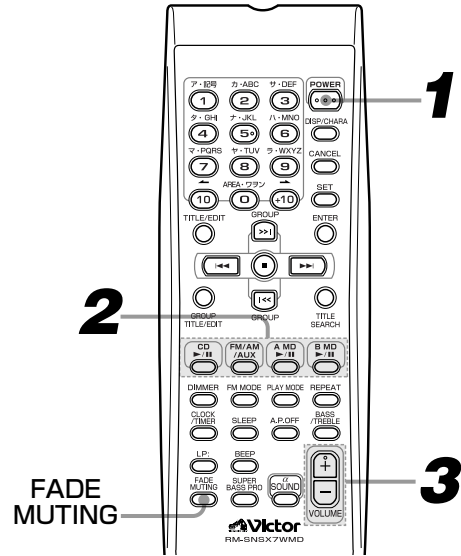
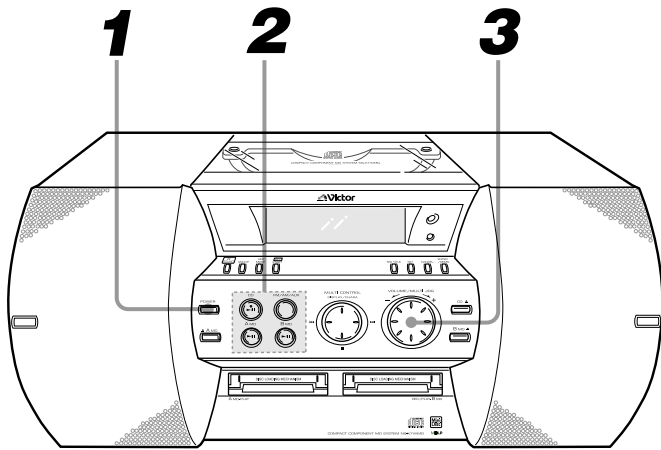
● 近隣の別のAM放送の方がうまく受信できる地域の場合…

聞きたい放送の地域の市外局番を入力してください。

● 電波事情や地域によっては、エリアガイド機能で記憶されるよりご自分で選局する方が良好に受信できることもあります。このようなときは、その放送局を選んで記憶させてください。➡31ページ参照

〈お知らせ〉

● 電源コードを抜いた状態（または停電）が24時間以上続くと、記憶された放送局は取り消されます。電源コードを接続（または停電が復旧）したらエリアガイドによる記憶の操作をし直してください。
● エリアガイドによる放送局名表示は、コミュニティFM放送局には対応しておりません。

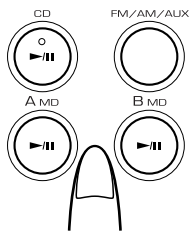
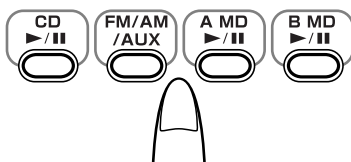
簡単操作(電源の入/切、イチ押しプレイ) ー番号順に操作します。ー

●基本的な使いかた

1 POWERを押す

本　体　　リモコン

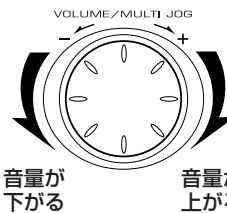
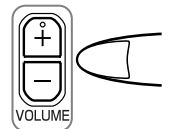
・電源が入り、「♪HELLO」が表示されたあと選ばれているソース(音源)が表示されます。
・CD▶/Ⅱ、A MD▶/Ⅱ、B MD ▶/Ⅱ、FM/AM/AUXのいずれかを押したときも電源が入り、ソース(音源)も変わります。
➡イチ押しプレイといいます。
(ディスクが入っていたときは、演奏が始まります)

2 聞きたいソース(音源)を選ぶ

本　体

リモコン

	操　作	参照ページ
CDを聞く	CDを入れ、CD▶/Ⅱを押す	18
MDを聞く	A MDデッキまたはB MDデッキにMDを入れ、A MD▶/ⅡまたはB MD▶/Ⅱを押す	22
放送を聞く(ラジオ)	FM/AM/AUXを押して聞きたい放送局を選局する	30
他の機器の音声を聞く	レコードプレーヤーなどをつなぎFM/AM/AUXを押してAUXを選ぶ	62

3 VOLUMEで音量を調節する

本　体　　リモコン

VOLUME/MULTI JOG

音量が下がる　　音量が上がる

・リモコンの場合、＋側を押すと音量が上がり、－側を押すと下がります。
・VOLUME 0 ～35までの範囲で調節できます。
詳しくは17ページをご覧ください。

●使い終わったら…

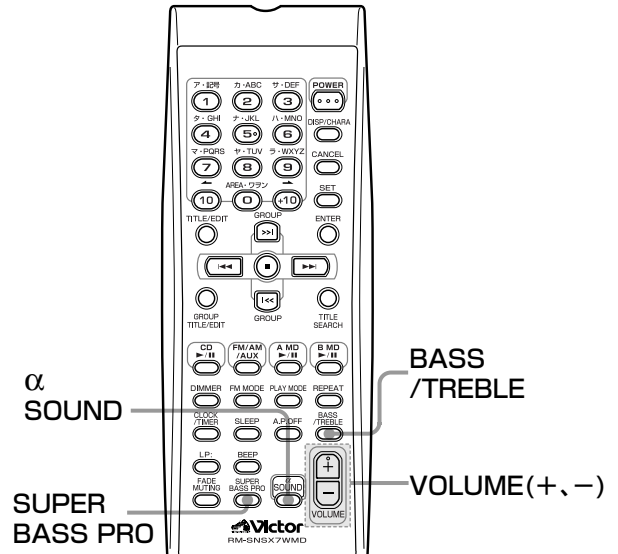
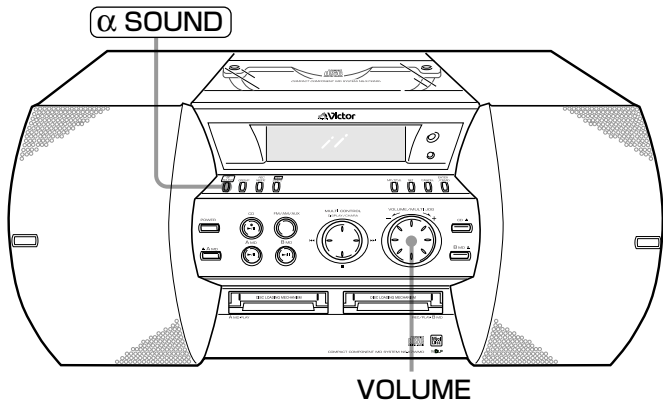
POWERボタンを押して電源を「切」にします。
「SEE YOU♪」が表示されたあと表示窓に現在時刻が表示されます。

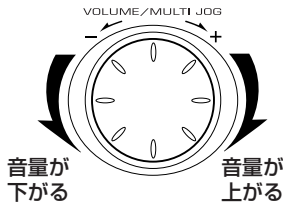
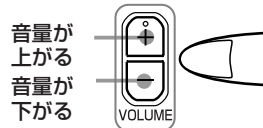
●音量を一時的にゼロにする(FADE MUTING)

リモコン

電話がかかってきたときなどに使います。聞いていた音量をワンタッチで無音(VOLUME 0)までフェードアウトできます。もう一度押すとフェードインして元の音量に戻ります。

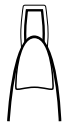
〈お知らせ〉
●電源「切」のとき▲A MDまたはB MD▲ボタンを押すと、電源が入りMDが入っていたときは出てきます。
●電源「切」のときは、消費電力を抑えるためMDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。

音量・音質の調節

● 音量の調節

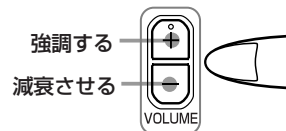
本　体　　　リモコン

・VOLUME 0～35までの範囲で調節できます。
（お買い上げ時はVOLUME14で、音量は表示窓に約2秒間表示されます）

● α（アルファ）サウンド＊のオン/オフ

αSOUNDボタンを押して「オン」にすると表示窓に SOUND が表示され、ひろがりのある音が楽しめます。

本　体　　　リモコン

＊αサウンドとは…

α波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのαDIMENSION SOUNDは、サラウンド回路の要である左右差信号(L-R間接音)にα波周波数でゆらぎを与え(これをLFO変調といいます)、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。ボタン一つで、そんなプラスαの効果が楽しめます。

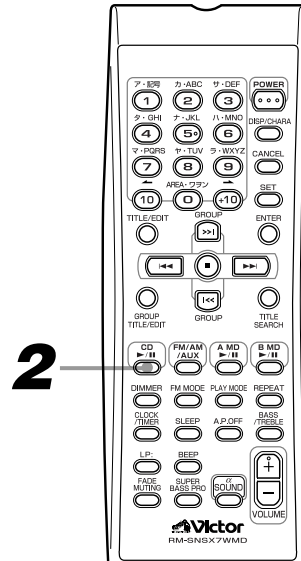
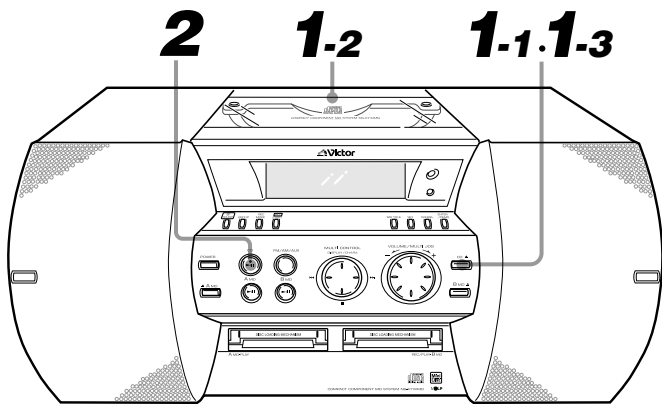
● 音質の調節(リモコンのみ)

● スーパーバスプロのオン/オフ(重低音の切換)

リモコン

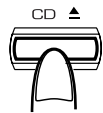
・押すごとに「オン⟷オフ」が選べます。
「オン」にすると表示窓に BASS が表示され、メリハリの効いた重低音が楽しめます。(お買い上げ時の状態)

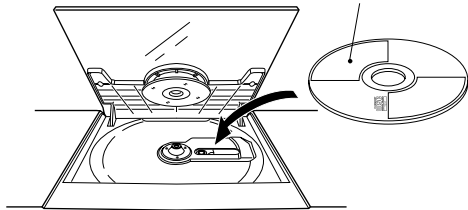
〈お知らせ〉

● 音量や音質調節は、スピーカーの音声やヘッドホンの音声に効きます。録音される音には、影響ありません。

CDを聞く —番号順に操作します。—

● 全部の曲の演奏

1 CDを入れる

1-1 CD▲を押してCDドアを開ける

・電源「切」のときは、電源が入ります。

1-2 CDを入れる

・文字のある面を上にして入れる。

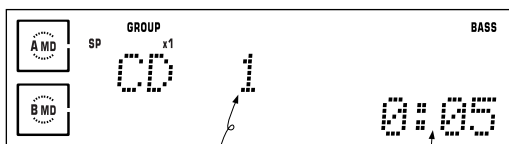
1-3 CD▲を押してCDドアを閉める

・ソース(音源)が「CD」のときは、「CD DOOR CLOSE ➡ CD READING」が表示されます。

2 CD▶/❚❚を押す➡演奏スタート

本　体

・ソース(音源)が「CD」になります。

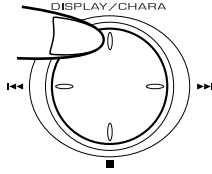
リモコン

・「CD PLAY」が表示され１曲目から演奏がスタートし、全部の曲の演奏が終わると、自動停止します。

	操　　作
演奏をとめる	■(停止)ボタンを押します。 総曲数と総演奏時間が表示されます。 ・本体はMULTI CONTROLを使います。
一時停止する	CD▶/❚❚ボタンを押します。演奏経過時間表示が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。
曲の頭出し(スキップ)	❙◀◀ボタン：押すごとに戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。 ▶▶❙ボタン：押すごとに次の曲の頭に移ります。 停止中に押すと、曲ごとの演奏時間が分かります。 ・本体はMULTI CONTROLを使います。
曲の早送り・早戻し(サーチ)	・演奏中に押し続けます。 ❙◀◀ボタン：早戻しができます。 ▶▶❙ボタン：早送りができます。 (演奏音が小さく聞こえます) ・本体はMULTI CONTROLを使います。

● CDを取り出すには

CD▲ボタンを押します。CDドアが開きます。ソース(音源)が「CD」のときは、表示窓に「CD DOOR OPEN」が表示されます。

表示窓の表示を変えるには

本体のDISPLAY/CHARAまたはリモコンのDISP/CHARAボタンを使います。押すごとに次のように変わります。

本　体　　リモコン

・CD演奏中は

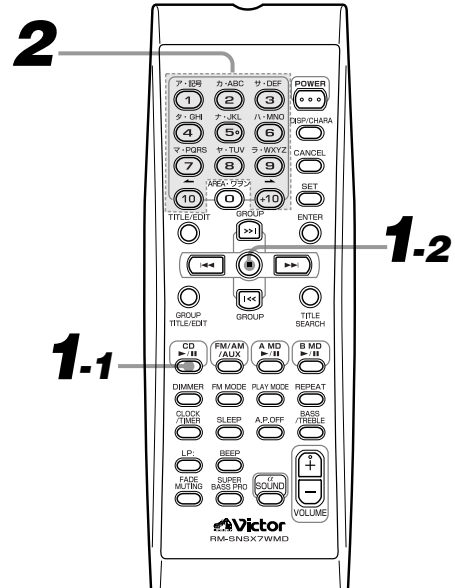
・CD停止中のときは

＊ タイマーが設定されていると、タイマーモードが現在時刻の下に表示されます。

〈お知らせ〉

- 文字のある面に、、またはのいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- CDの取り扱いについては、8ページをご覧ください。
- CDが入っているときは、CD▶/IIボタンを押すだけで演奏が始まります。
- CDが入っていないときCD▶/IIボタンを押すと、「CD NO DISC」が表示されソース(音源)は変わりません。
- 電源を「入」にすると、MD部から「カチッ」という音がします。これはMD部に電源を供給するための音で故障ではありません。

ダイレクト演奏

聞きたい曲の番号と同じ数字ボタンを押すと、直接その曲から聞くことができます。これをダイレクト演奏といいます。

1 CD▶/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「CD」になります。

演奏がとまったら

2 数字ボタンを押して曲を選ぶ

- 1～10曲目のときは…
  1～10までの希望するボタンを押す。
- 11曲目以上のとき…
  +10のボタンのあと1～10のボタンを押す。

例：15曲目
+10 ➡ 5 と押す。

例：20曲目
+10 ➡ 10 と押す。

例：25曲目
+10 ➡ +10 ➡ 5 と押す。

押した曲番号が表示窓に表示され、ダイレクト演奏がスタートします。

- **演奏中も別の曲に変更できます。**
  聞きたい曲の数字ボタンを押してください。
  押した曲番号に表示が変わり、曲の頭から演奏がスタートします。

聞く

CDを聞く(つづき) ―番号順に操作します。―

プログラム演奏

最大32曲までプログラム(予約)することができます。これ以上は「MEMORY FULL」が表示され、できません。

● **プログラム内容の確認(停止状態のときのみ)**

▶▶Iボタンを押すごとに、プログラム1からの曲番号とプログラムの順番が表示されます。合計時間の表示は変わりません。

● **プログラムを間違えたときは**

停止状態のときCANCELボタンを押します。押すごとに最後のプログラムから取り消されます。

「CD PROGRAM ALL CLEAR」が表示されるまで押し続けると、プログラムが全て取り消されます。

● **プログラム演奏のモードを取り消すには**

CDを取り出すまたは電源を切ったとき、取り消されます。プログラムも全て取り消されます。

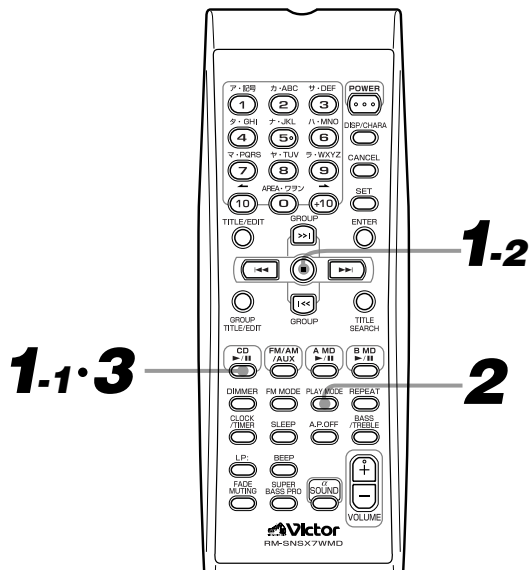
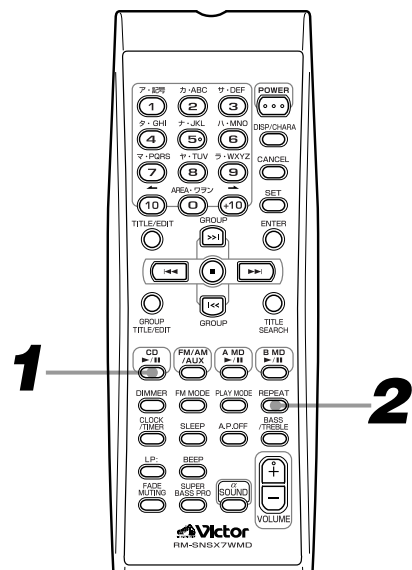
〈お知らせ〉

- 同じ曲だけ32曲プログラムすることもできます。
- プログラム演奏を利用すると、CDに収録されている曲の中から、好きな曲だけを選んで聞くことができます。なお、プログラムしてMDにシンクロ録音するときは、上記の手順**4**の操作は必要ありません。
- リピート演奏(➡21ページ参照)と併用すると、プログラムした曲をくり返して聞くことができます。
- タイマー再生を利用する場合、いったん電源を切ってしまうためプログラム演奏はできません。

無作為な順番で聞く(ランダム演奏)

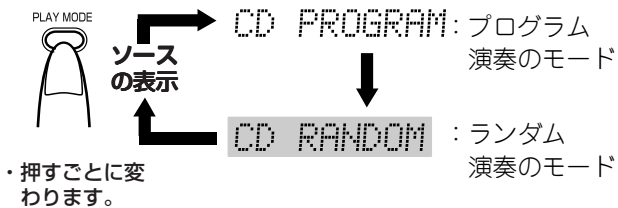
本機が曲順を無作為(ランダム)に選んで演奏します。

1 CD▶/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「CD」になります。

2 PLAY MODEを押して「CD RANDOM」を選ぶ

CD PROGRAM：プログラム演奏のモード

CD RANDOM：ランダム演奏のモード

・押すごとに変わります。

プレイモード表示　ランダム演奏のモード表示

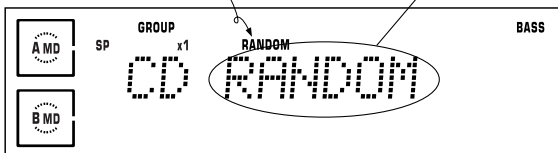
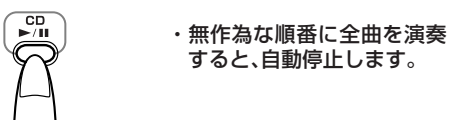
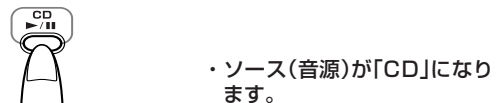
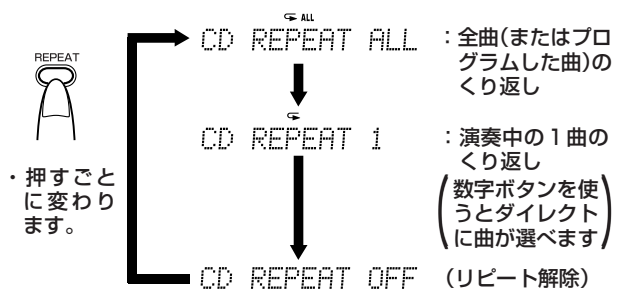
3 CD▶/IIを押す ➡ランダム演奏スタート

・無作為な順番に全曲を演奏すると、自動停止します。

くり返して聞く(リピート演奏)

1曲または全曲をくり返して聞くことができます。

1 CD▶/IIを押す

・ソース(音源)が「CD」になります。

2 REPEATを押してリピート演奏のモードを選ぶ

●リピート演奏をやめるには

REPEATボタンを押して「CD REPEAT OFF」を選び、リピート解除にします。

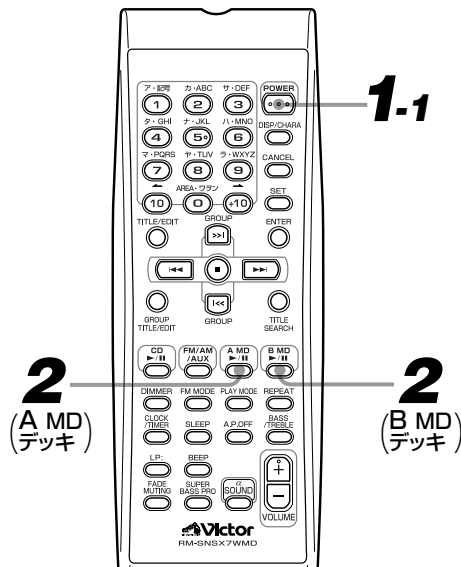
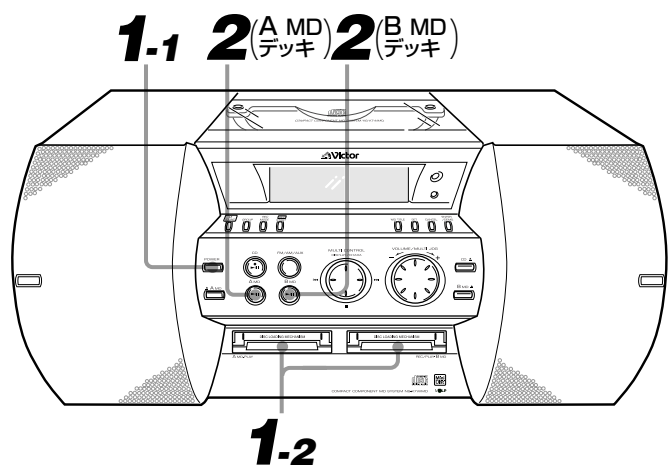
●ランダム演奏をくり返すには

ランダム演奏中にREPEATボタンを押して「CD REPEAT ALL」にすると、全曲リピートのランダム演奏になります。

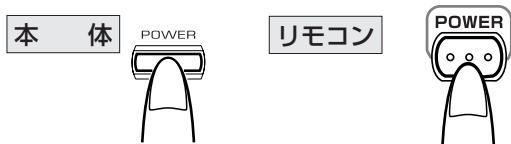
●ランダム演奏のモードを解除するには

次のいずれかの操作をします。

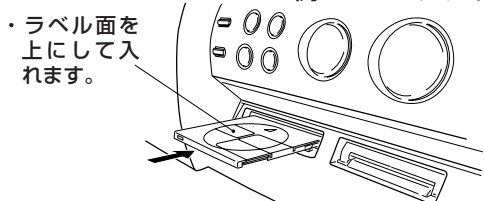
- ・CDを取り出す
- ・停止中にPLAY MODEボタンを押して「RANDOM」表示を消す
- ・電源を切る

MDを聞く —番号順に操作します。—

● 全部の曲の演奏

1 MDを入れる

1-1 POWERを押して電源を「入」にする

1-2 ラベル面を上にし、矢印の方向（⇨または▷）から差し込む。
途中まで入れると自動的に中に引き込まれます。

例：A MDデッキのとき

・ラベル面を上にして入れます。

・MDを入れると、MDが入っていることを表す輪が表示されます。

2 演奏したいMDデッキのMD▶/II を押す➡演奏スタート

・「AMD PLAY」が表示され１曲目から演奏がスタートし、全部の曲の演奏が終わると、自動停止します。

	操　　作
演奏をとめる	■（停止）ボタンを押します。 総曲数と総演奏時間が表示されます。 ・本体はMULTI CONTROLを使います。
一時停止する	A MD ▶/II（またはB MD▶/II）ボタンを押します。演奏経過時間表示が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。
曲の頭出し（スキップ）	I◀◀ボタン：押すごとに戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。 ▶▶Iボタン：押すごとに次の曲の頭に移ります。 停止中に押すと、曲ごとの演奏時間が分かります。 ・本体はMULTI CONTROLを使います。
曲の早送り・早戻し（サーチ）	・演奏中に押し続けます。 I◀◀ボタン：早戻しができます。 ▶▶Iボタン：早送りができます。 （演奏音が小さく聞こえます） ・本体はMULTI CONTROLを使います。

● MDを取り出すには

▲A MDまたはB MD▲ボタンを押します。MDが出てきます。
ソース（音源）が「A MDまたはB MD」のときは、表示窓に「デッキ名とEJECT➡NO DISC」が表示されます。

MDの再生モードについて

MDは録音したときの録音モードに従って演奏されます。演奏が始まると、表示窓にそのMDの再生モードが表示されます。

- SP　：本機でステレオ録音したMDまたはMD LPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- LP2　：ステレオ２倍長時間録音したMDのとき
- LP4　：ステレオ４倍長時間録音したMDのとき

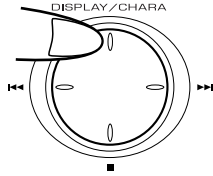
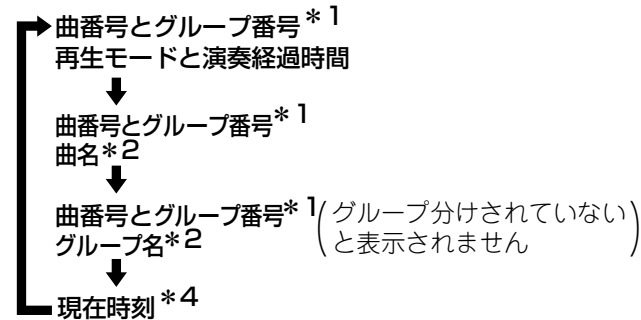
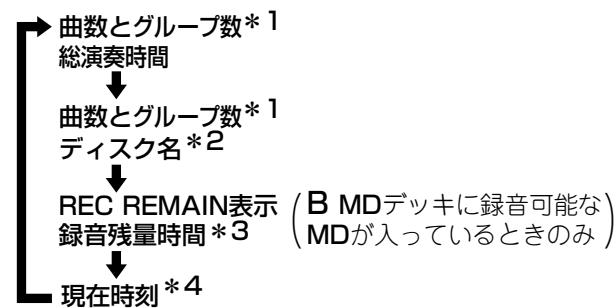
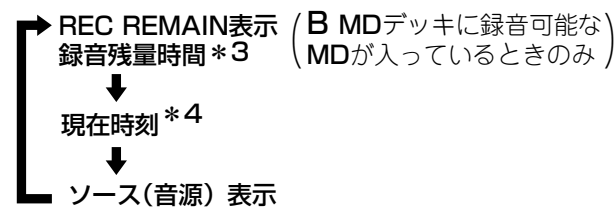
表示窓の表示を変えるには

本体のDISPLAY/CHARAまたはリモコンのDISP/CHARAボタンを使います。押すごとに次のように変わります。

本　体

リモコン

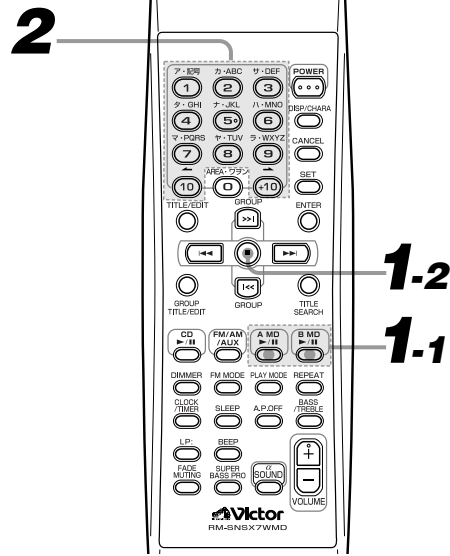
・MD演奏中は

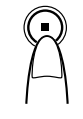
曲番号とグループ番号＊1
再生モードと演奏経過時間
↓
曲番号とグループ番号＊1
曲名＊2
↓
曲番号とグループ番号＊1（グループ分けされていないと表示されません）
グループ名＊2
↓
現在時刻＊4

・MDが停止中のときは[ソース(音源)はA MDまたはB MD]

● ソース(音源)がMD以外のときは

＊1 グループ分けされていないときは表示されません。
＊2 記録されていないときはNO TITLEが表示されます。
＊3 再生用MDのときは0:00が表示されます。
＊4 タイマーが設定されていると、タイマーモードが現在時刻の下に表示されます。

〈お知らせ〉

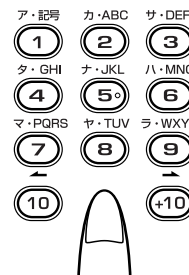
- MDの取り扱いについては、8ページをご覧ください。
- MDが入っているときは、A MD ▶/❚❚またはB MD ▶/❚❚ボタンを押すだけで演奏が始まります。
- MDが入っていないときA MD ▶/❚❚またはB MD ▶/❚❚ボタンを押すと、「AMD(またはBMD)NO DISC」が表示されソース(音源)は変わりません。
- 電源を「入」にすると、MD部から「カチッ」という音がします。これはMD部に電源を供給するための音で故障ではありません。

ダイレクト演奏

聞きたい曲の番号と同じ数字ボタンを押すと、直接その曲から聞くことができます。これをダイレクト演奏といいます。

1 A MD ▶/❚❚またはB MD ▶/❚❚➡■(停止)を押す

・A MDデッキのとき　　・B MDデッキのとき

・ソース(音源)が「A MDまたはB MD」になります。

演奏がとまったら

2 数字ボタンを押して曲を選ぶ

● 1～10曲目のときは…
1～10までの希望するボタンを押す。

●11曲目以上のとき…
+10 のボタンのあと 1 ～ 10のボタンを押す。

例：15曲目
+10 ➡ 5 と押す。

例：20曲目
+10 ➡ 10 と押す。

例：25曲目
+10 ➡ +10 ➡ 5 と押す。

押した曲番号が表示窓に表示され、ダイレクト演奏がスタートします。

● 演奏中も別の曲に変更できます。
聞きたい曲の数字ボタンを押してください。
押した曲番号に表示が変わり、曲の頭から演奏がスタートします。

聞く

MDを聞く(つづき) ー番号順に操作します。ー

プログラム演奏

最大32曲までプログラム(予約)することができます。これ以上は「MEMORY FULL」が表示され、プログラムできません。

1 プログラム演奏をしたいMDデッキ(A MDまたはB MD)を選び■(停止)を押す

・ソース(音源)が「A MDまたはB MD」になります。例はA MDデッキを選んだときです。

演奏がとまったら

2 PLAY MODEを押して「AMD PROGRAM」を選ぶ

AMD PROGRAM：プログラム演奏のモード

AMD RANDOM：ランダム演奏のモード

AMD GROUP：グループ演奏のモード

ソースの表示

・押すごとに変わります。

例：A MDデッキのプログラム演奏のとき

3 数字ボタンでプログラムする

(例： 2 ➡ 5 ➡ 12曲目の順に予約するとき)

2 曲目　5 曲目　12曲目

例：A MDに 3 曲プログラムしたとき

・予約の最後の曲番号と順番、プログラムの合計時間が表示されます。ただし、 2:29:59 を超えると−:−−表示になります。

4 A MD ▶/❚❚を押す ➡プログラム演奏スタート

・プログラムした順に演奏されます。演奏が終わると自動停止しますがプログラムは残ります。

● プログラム内容の確認(停止状態のときのみ)

▶▶❙ボタンを押すごとに、プログラム 1 からの曲番号とプログラムの順番が表示されます。合計時間の表示は変わりません。

● プログラムを間違えたときは

停止状態のときCANCELボタンを押します。押すごとに最後のプログラムから取り消されます。

「A MD(またはB MD) PROGRAM ALL CLEAR」が表示されるまで押し続けると、プログラムが全て取り消されます。

● プログラム演奏のモードを取り消すには

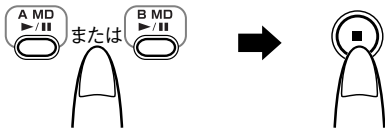
MDを取り出すまたは電源を切ったとき、取り消されます。プログラムも全て取り消されます。

〈お知らせ〉

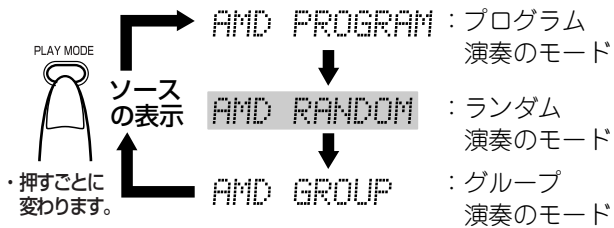
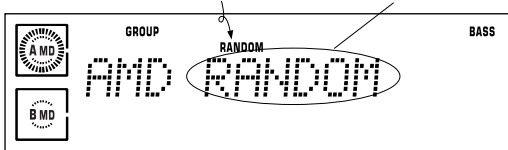
- 同じ曲を 32 曲プログラムすることもできます。
- プログラム演奏を利用すると、MDに収録されている曲の中から、好きな曲だけを選んで聞くことができます。なお、プログラムしてB MDデッキにシンクロ録音するときは、上記の手順4の操作は必要ありません。
- リピート演奏(➡㉕ページ参照)と併用すると、プログラムした曲をくり返して聞くことができます。
- A MDデッキとB MDデッキを、一緒にプログラムすることはできません。
- タイマー再生を利用する場合、いったん電源を切ってしまうためプログラム演奏はできません。

無作為な順番で聞く(ランダム演奏)

本機が曲順を無作為(ランダム)に選んで演奏します。

1 ランダム演奏をしたいMDデッキ(A MDまたはB MD)を選び■(停止)を押す

・ソース(音源)が「A MDまたはB MD」になります。例はA MDデッキを選んだときです。

演奏がとまったら

2 PLAY MODEを押して「AMD RANDOM(ランダム)」を選ぶ

・押すごとに変わります。

例：A MDのランダム演奏のとき

3 A MD►/IIを押す ➡ランダム演奏スタート

・無作為な順番に全曲を演奏すると、自動停止します。

くり返して聞く(リピート演奏)

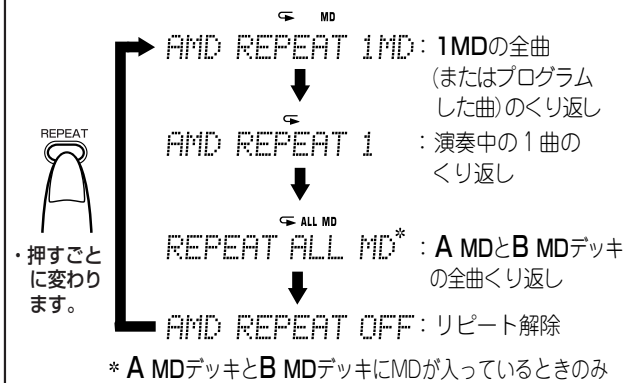
1曲または全曲をくり返して聞くことができます。

1 A MD ►/IIまたはB MD►/IIを押す

・ソース(音源)が「A MDまたはB MD」になります。例はA MDデッキを選んだときです。

2 REPEATを押してリピート演奏のモードを選ぶ

・押すごとに変わります。

＊A MDデッキとB MDデッキにMDが入っているときのみ

● リピート演奏をやめるには

REPEATボタンを押して「A MD(またはB MD) REPEAT OFF」を選び、リピート解除にします。

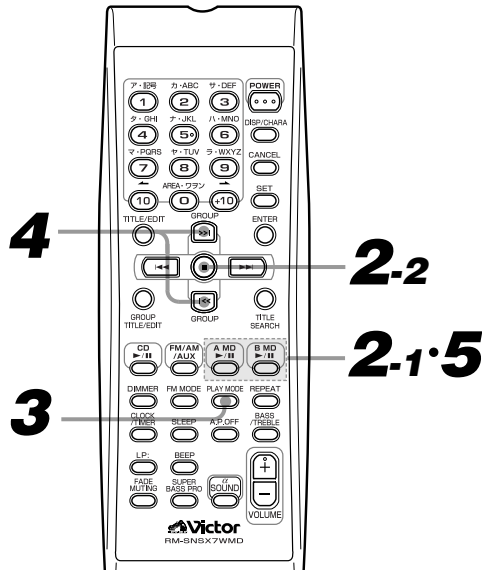
● ランダム演奏をくり返すには

ランダム演奏中にREPEATボタンを押して「A MD(またはB MD) REPEAT 1 MD」にすると、全曲リピートのランダム演奏になります。

● ランダム演奏のモードを解除するには

次のいずれかの操作をします。
・MDを取り出す
・停止中にPLAY MODEボタンを押して「RANDOM」表示を消す
・電源を切る

MDのグループ演奏 ー番号順に操作します。ー

グループ設定されているMDは、グループ機能*を使うことができます。

＊グループ機能とは…

ステレオ長時間録音（MD LP）により１枚のMDに多くの曲が録音できるようになりました。このMDに録音された曲をいくつかのまとまり（グループ）に分けて利用する機能のことです。

１曲でもグループにすることができ、一つのMDが全部で99のグループに分けられます。

1 グループ分けされているMDをA MDまたはB MDデッキに入れる

2 グループ演奏したいMDデッキ（A MDまたはB MD）を選び■（停止）を押す

・ソース（音源）が「A MDまたはB MD」になります。
例はA MDデッキを選んだときです。

演奏がとまったら

3 PLAY MODEを押して「AMD GROUP」を選ぶ

グループ演奏のモード表示

4 GROUP>>I（またはI<<）を押して演奏したいグループを選ぶ

例：グループ２を選んだとき

5 A MD►/IIを押す➡グループ演奏スタート

・グループ演奏がスタートします。グループ内の全曲を演奏し、終わると自動停止します。

● グループ分けされていないMDのとき，A MD►/IIまたはB MD►/IIボタンを押すとグループ演奏のモードが解除され通常の演奏になります。

● くり返しグループ演奏する

グループ演奏中にリモコンのREPEATボタンを押して「REPEAT 1MD」を選ぶと、グループ内の全曲をくり返して聞くことができます。

● グループ演奏中に別のグループを選ぶ
（グループスキップといいます）

次のグループ
GR.2 ➡ GR.3 ➡…

選んだグループの最初の曲から演奏がスタートします。

前のグループ
…➡GR.2 ➡GR.1

演奏中に1回押すと、そのグループの最初の曲になります。さらにくり返し押すと、前のグループが選べます。

GROUP

● グループ演奏のモードを解除する

MDが停止中に
PLAY MODEボタンを押して
プレイモード表示の「GROUP」
を消します。

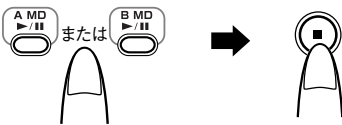
〈お知らせ〉

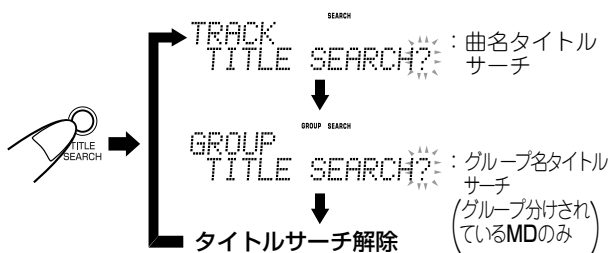
● MDのタイトルサーチ（➡㉘ページ参照）の操作をすると、MDのグループ演奏のモードが解除されます。

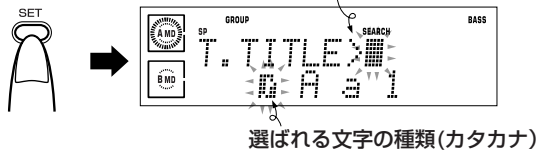
● グループに分けるには
· CDごとにグループ分けして録音する➡㉞ページ参照
· 録音したあとでグループ分けする➡㊾ページ「MDのグループ編集」参照

MDのタイトルサーチ —番号順に操作します。—

曲名またはグループ名の頭から1～5文字を入力すると、その曲から聞くことができます。これをタイトルサーチといいます。
また曲名(グループ名)のついていない曲を探すこともできます。

1 タイトルサーチをしたいMDデッキ(A MDまたはB MD)を選び■(停止)を押す

・ソース(音源)が「A MDまたはB MD」になります。
例はA MDデッキを選んだときです。

2 TITLE SEARCHを押して「TRACK TITLE SEARCH?」または「GROUP TITLE SEARCH?」を選ぶ

3 SETを押す

例：曲名タイトルサーチのとき　文字の入力位置(カーソル)

選ばれる文字の種類(カタカナ)

・カタカナを入力するモードになります。

4 DISP/CHARA*で文字の種類を選ぶ

詳しくは➡29ページ「文字配列表」参照

5 聞きたい曲の曲名(1～5文字)を入力する

5-1 数字ボタンで文字を選ぶ
(例：カタカナのとき)

・ア行の文字の入力は…
1ボタンを押すと、押すごとに
ア→イ→ウ→エ→オ→ォ→ェ→ゥ→ィ→ァ
と選べます。
(ワヲンと゛ー゜は、0ボタンを使います)

5-2 ＋10ボタンを押して確定する(カーソルが右へ移動します)

・空白(スペース)を入れるときも＋10ボタンを押します。

・別の数字ボタンを押したときも確定できます。
・間違えたときはCANCELボタンで取り消します。
・手順**4**と**5**のくり返しで残りの2～5文字を入力します。
・途中の文字を消したいときは10ボタンでカーソルを文字に合わせCANCELボタンを押します。そのあと文字を選び＋10ボタンを押すと、文字の修正ができます。

6 ENTERを押す

・表示窓に「SEARCH」表示が点滅し選曲動作に入ります。

29ページへ続く

＊CHARA(キャラクター)とは…
CHARACTERの略で文字や記号の意味です。

● 曲名がついている曲を探しているとき

入力した文字で始まる曲があると：

曲名が表示され、その曲の演奏が始まります。
その曲の演奏が終了すると、再び曲を探しMDの最後まで探して同じ文字で始まる曲があると演奏になります。曲がないときは、「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチは解除されます。

入力した文字で始まる曲がないと：

「NOT FOUND」が表示され、タイトルサーチは解除されます。

● 曲名のついていない曲を探しているとき

NO TITLEの曲があると：

その曲を演奏します。その曲の演奏が修了すると再びNO TITLEの曲を探します。MDの最後まで探してもないときは、「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチは解除されます。

全て曲名がついていると：

「NOT FOUND」が表示され、タイトルサーチは解除されます。

● タイトルサーチの動作を途中で解除するには

TITLE SEARCH ボタンを押して解除にします。
■（停止）ボタンを押したときも解除されます。

〈お知らせ〉

- **１文字だけ入力したときは、その文字の曲を全て探します。**
- **スペース（空白）の後ろに文字があるときに限り、スペースも含めた文字として探します。**
- **英大文字と英小文字は、区別して探します。**
- ゜や゛は、半濁音や濁音になる文字以外には入れることができません。
- TITLE SEARCHボタンを押すと、MDのプレイモードやリピートモードが解除されタイトルサーチのモードになります。
- 曲名タイトルサーチで演奏中に▶▶I ボタンを押すと「SEARCH」が再び点滅表示され、別の曲を探します。ただし、▶▶Iボタンを押して、次の曲の頭出しをすることはできません。
- グループ名タイトルサーチで演奏中にGROUP >>I ボタンを押すと「SEARCH」が再び点滅表示され、別のグループを探します。ただし、GROUP >>I ボタンを押して、次のグループの頭出しをすることはできません。

● 文字配列表

ボタン	カタカナ	英大	英小	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
AREA・ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊記号で表示する内容

□スペース（空白）			！	”	＃	＄	％	＆	’	（	）	＊	＋
，	ー	．	／	：	；	＜	＝	＞	？	＠	_	`	

聞く

放送(ラジオ)を聞く ー番号順に操作します。ー

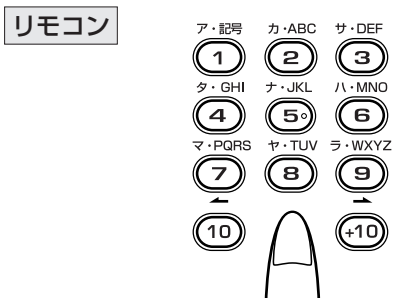
1 FM/AM/AUXを押す

本　体　　リモコン

・電源が入り、押すごとにバンドまたは「AUX」が選べます。
・FMまたはAMを選ぶとソース(音源)は「ラジオ」になります。

2 選局する

2-A 放送局が記憶(メモリー)してあるとき(プリセット選局といいます)

リモコン

・数字ボタン(1～10、+10)を押して選局します。

● 1～10局目は

(1)～(10)
のいずれかを押します。

● 11～30 局目は

(+10)のあと(1)～(10) のいずれかを押します。

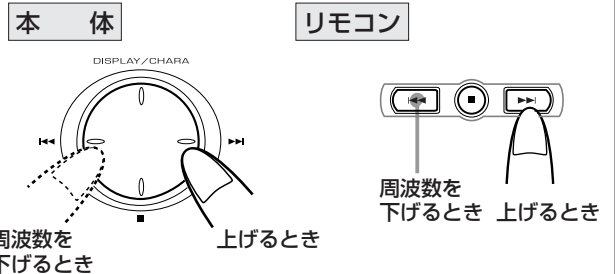
例：15局目は

(+10) ➡ (5) と押す。

例：20 局目は(FM放送のみ)

(+10) ➡ (10) と押す。

2-B ▶▶Iまたは I◀◀で選局する

本　体　　リモコン

・**オート選局**：▶▶IまたはI◀◀ボタンを押し続け、周波数表示が変わりだしたら指を離します。放送局を受信すると、自動で止まります。

・**マニュアル選局**：▶▶IまたはI◀◀ボタンを「ポン･ポン」と押します。FM*は0.1MHzずつ、AMは 9 kHzずつ変わります。

＊テレビの 1 ～ 3 チャンネルは、周波数が合わないためうまく受信できません。これはテレビ音声が50kHz間隔のためで、故障ではありません。

● FM放送を聞くときは

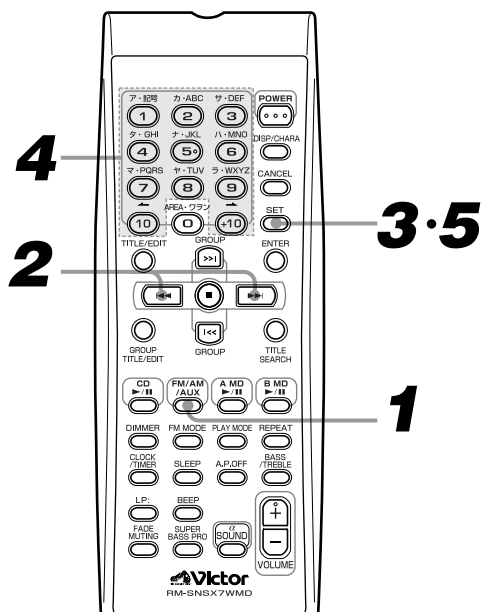
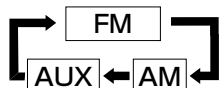
通常は「AUTO」の状態で使います。FMステレオ放送を受信すると、表示窓に“STEREO”が表示されステレオで聞くことができます。雑音が多くて聞きにくいときは、リモコンのFM MODEボタンを押して「MONO」を選び“MONO”表示に切換えてください。

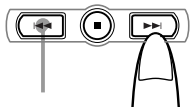
リモコン

〈お知らせ〉

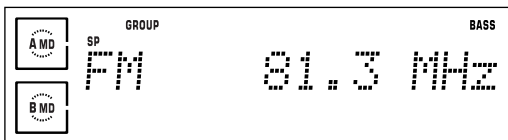
● AM放送は、モノラル受信です。AM放送を受信するときは、必ずAMループアンテナ(付属品)を接続してください。
● 付属のFM簡易型アンテナやAMループアンテナではうまく受信できないときは､市販の屋外アンテナを使用してください。➡12ページ参照

放送局を選んで記憶させる(リモコンのみ)

エリアガイド機能を使って記憶させたあと、最大**FM**は30局、**AM**は15局までバンドごとに放送局が追加できます。

1 FM/AM/AUXを押す

・電源が入り、押すごとにバンドまたは「AUX」が選べます。
・FMまたはAMを選ぶとソース(音源)は「ラジオ」になります。

2 ▶▶Iまたは I◀◀で選局する

周波数を下げるとき　上げるとき

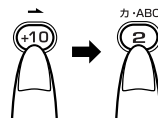
・マニュアル選局または、オート選局で記憶したい放送局を選びます。

例 :FMの 81.3MHzを受信したとき

3 SETを押す

プリセット番号１が点滅

4 数字ボタン(1〜10、+10)で記憶したいプリセット番号を選ぶ

・数字ボタンでダイレクトにプリセット番号が選べます。

例：12局目に記憶するとき

FM12 81.3 MHz

点滅

・すでに記憶されている番号を選ぶと、そのプリセット番号を今選んだ放送局に変更することができます。

5 SETを押す

・追加した放送局が記憶(メモリー)されます。
２秒後にソース(音源)表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 電源コードを抜いた状態(または停電)が24時間以上続くと、記憶させた放送局は取り消されます。再度記憶させてください。
- エリアガイド機能を使って記憶(メモリー)させると、追加した放送局は取り消されます。再度放送局を記憶(メモリー)させてください。

録音する前に

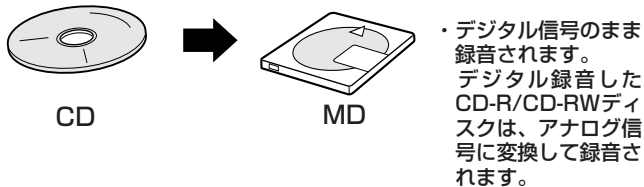
CD/MDの録音あれこれ

CD/MDのシンクロ録音

１枚の**CDまたはMD**をそのまま**MD**にシンクロ録音できます。あらかじめプログラムしておくと、オリジナルの**MD**が作れます。

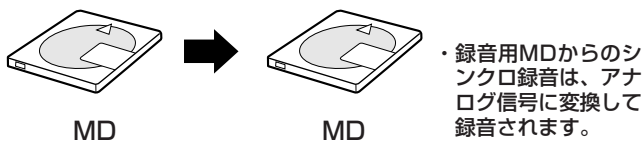
CDからMDへのシンクロ録音（等速／倍速録音）

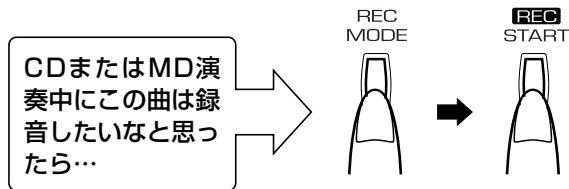
CD　　　　MD

・デジタル信号のまま録音されます。
デジタル録音したCD-R/CD-RWディスクは、アナログ信号に変換して録音されます。

倍速録音は、**CD**を演奏時間の半分の時間で録音できます。ただし、倍速録音中は、**CD**の演奏音を聞くことはできません。

MDからMDへのシンクロ録音（等速録音のみ）

MD　　　　MD

・録音用MDからのシンクロ録音は、アナログ信号に変換して録音されます。

１曲録音

録音したい**CD**または**MD**の曲を演奏中に**REC MODE**ボタンで録音モード（**SP**、**LP2**または**LP4**）／録音スピード（**CD**のみ）を選び **REC START**ボタンを押すと、１曲録音ができます。

➡ 演奏中の曲の頭に戻り、１曲録音になります。

〈お知らせ〉
- 録音は**B MD**デッキに限り可能です。
- シンクロ録音とは
録音開始に合わせて**CD**または**MD**の演奏が一緒にスタートすることを、シンクロ録音といいます。演奏が終わると、録音も自動停止します。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MDのステレオ長時間録音について

今まで**MD**の長時間録音は、モノラル２倍長録音でしたが、本機はステレオのまま２倍長時間録音または４倍長時間録音ができます。録音するソース（音源）や、録音方式に関係なく設定できます。また１枚の**MD**に異なる録音モード（**SP**、**LP2**または**LP4**）の曲を混ぜて録音することもできます。

・SP　：標準のステレオ録音
（**MD80**で最大80分の録音）

・LP2　：ステレオ２倍長時間録音
（**MD80**で最大160分の録音）

・LP4　：ステレオ４倍長時間録音
（**MD80**で最大320分の録音）
ラジオ放送の長時間録音などに便利

〈お知らせ〉
- 本機でステレオ２倍長時間録音または４倍長時間録音した**MD**の曲は、**MDLP**に対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では演奏できません。
表示窓に**LP：**が表示され無音状態になります。演奏が可能な**MDLP**に対応した機器では、**LP：**は表示されません。

曲名の頭にLP：をつけずに長時間録音する

リモコン

本機はステレオ長時間録音をすると、曲の頭に自動で**LP**：を記録するモードになっています（お買い上げ時の状態）。

- **LP：をつけずに録音したいときは、停止状態のときリモコンのLP：ボタンを押して「(LP：)OFF」にします。
元に戻すときは、もう一度LP：ボタンを押します。
「(LP：)ON」が表示され、記録されるようになります。**

録音の自動停止を「ピー」音で知らせる

本機は「**BEEP ON**」に設定されており、「ピー」という音で録音が終了したことを知らせてくれます。リモコンの**BEEP**ボタンを押すと、解除することもできます。

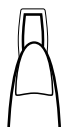
リモコン

BEEP OFF：ビープ音解除

BEEP ON：録音が自動停止すると「ピー」音（倍速録音のときは「ピー･ピー･ピー」音）でお知らせしてくれます。（お買い上げ時の状態）

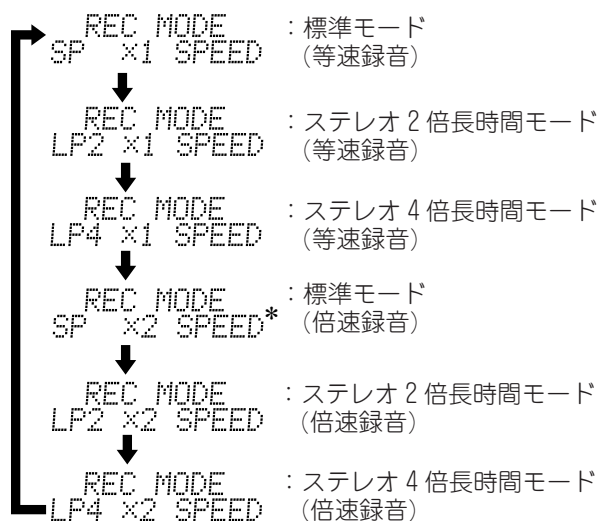
・**押すごとに「オン⬌オフ」に設定できます。**

MDの録音モードの設定について

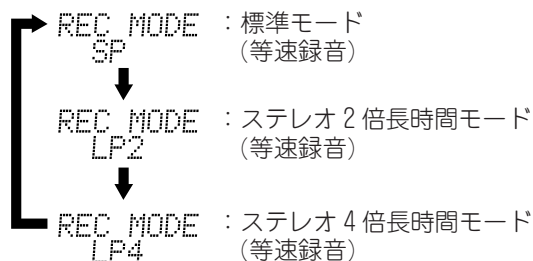
REC MODE

押すごとに選べます。

MDに録音するときは、あらかじめREC MODEボタンで録音モード／録音スピードを選んでから、録音状態にしてください。録音中に変えることはできません。
また、ソース（音源）によって選べるモードが異なります。

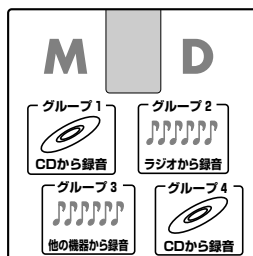
・「CD」のとき

REC MODE SP ×1 SPEED ：標準モード（等速録音）
↓
REC MODE LP2 ×1 SPEED ：ステレオ2倍長時間モード（等速録音）
↓
REC MODE LP4 ×1 SPEED ：ステレオ4倍長時間モード（等速録音）
↓
REC MODE SP ×2 SPEED* ：標準モード（倍速録音）
↓
REC MODE LP2 ×2 SPEED ：ステレオ2倍長時間モード（倍速録音）
↓
REC MODE LP4 ×2 SPEED ：ステレオ4倍長時間モード（倍速録音）

＊ 録音スピードの
×2 SPEEDが倍速録音を表します。
×1 SPEEDは等速録音です。

・「MD」「ラジオ」または「AUX」のとき

REC MODE SP ：標準モード（等速録音）
↓
REC MODE LP2 ：ステレオ2倍長時間モード（等速録音）
↓
REC MODE LP4 ：ステレオ4倍長時間モード（等速録音）

グループ録音について

本機はお買い上げ時グループ録音モードが「オン」（GROUP表示点灯）になっていますので、録音スタートから終わりまでを一つのグループとして録音することができます。

グループ録音のイメージ図

MD LPで長時間録音するとき、ソース（音源）ごとまたはCDごとなどにグループ分けしておくと、1枚のMDがチェンジャーのように使えます。

●グループ録音したくないときは、本体のGROUPボタンを押してグループ録音モードを「オフ」にしてください。

本　体

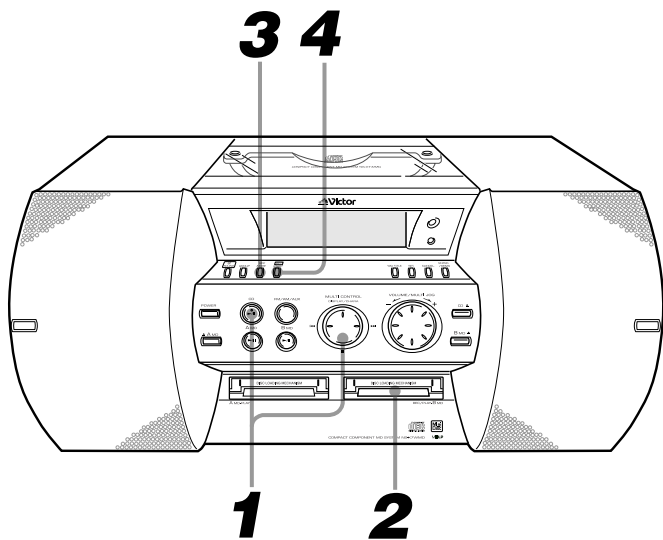
元に戻すときは、もう一度押してください。グループ録音モードが「オン」になります。

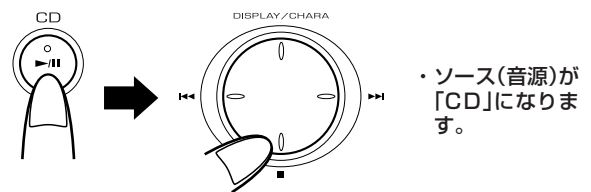
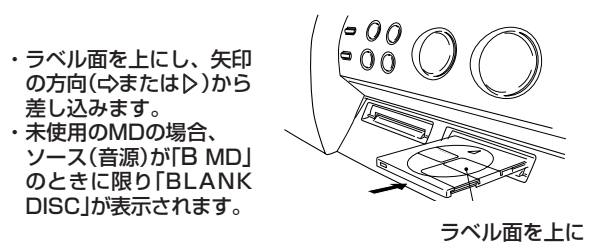
放送(ラジオ)、他の機器の音声の録音

●録音したいソース（音源）と録音モード（SP、LP2またはLP4）を選び REC STARTボタンを押します。

録音について知っておいてほしいこと

●**途中まで録音してあるMDの場合、その終わりを自動的に探して録音されます。**
新たに録音し直すときは、ALL ERASE（➡48ページ参照）で全部の曲を消してから録音してください。
●**MDには最大254曲まで録音できます。**
●**MDは通常ステレオで録音されます。**
●**録音中は、音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。**
●**録音レベルの調節は必要ありません。**
ALC録音方式のため自動でレベルが設定されます。
●**録音中または編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。**
特に「WRITING」表示中は、注意してください。
MDが使えなくなる原因となります。
●**再生専用のMDには録音・編集はできません。**

CDを等速/倍速でシンクロ録音する ー番号順に操作します。ー

● MDの録音スタートに同期してCDの演奏も始まります。

1 CDを入れ、CD▶/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「CD」になります。

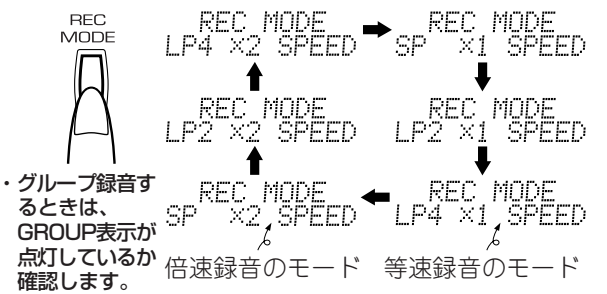
2 録音用のMDをB MDデッキに入れる

・ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込みます。
・未使用のMDの場合、ソース(音源)が「B MD」のときに限り「BLANK DISC」が表示されます。

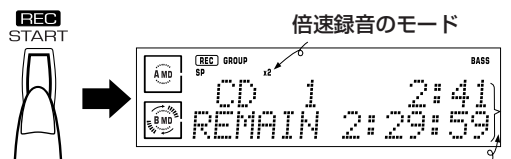
ラベル面を上に

● 好きな曲だけ録音するには…
①リモコンのPLAY MODEボタンを押してプログラム演奏のモードにする
②数字ボタンを押してプログラムする
➡詳しくは⑳ページ参照

3 REC MODEで録音モードを選ぶ

・グループ録音するときは、GROUP表示が点灯しているか確認します。

・お買い上げ時は、REC MODE SP ×1 SPEED(標準モードのステレオ録音)になっています。(モノラルの2倍長録音はできません)

4 REC STARTを押す➡録音スタート

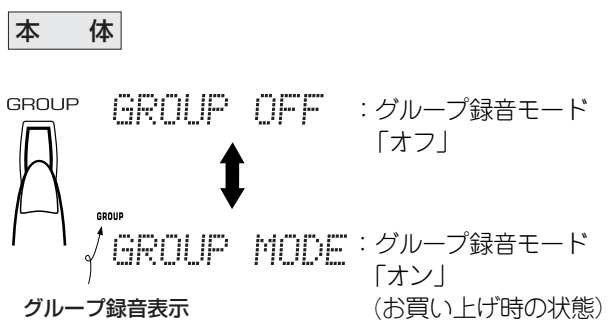
例：標準モードで倍速録音のとき

・表示窓に「CD➡BMD SP ×2 SPEED REC」と REC が表示されます。
・CDを一つのグループとして録音します(グループ録音モード「オン」)。
・CDの録音は、デジタル信号のまま録音されます。曲の変わり目では自動で曲番号(トラックマーク)がつけられ、番号も変わります。
・倍速録音中は、スピーカーから音が出ません。

● **MDの録音が終わると**
「WRITING」が点滅表示されたあと自動停止します。CDの演奏が終ったときも自動停止します。

● **録音を途中でやめるには**
■(停止)ボタンを押します。
「WRITING」が点滅表示され、録音が停止します。

● **グループ録音したくないときは**

本　体

GROUP OFF：グループ録音モード「オフ」
GROUP MODE：グループ録音モード「オン」(お買い上げ時の状態)

手順4の REC STARTボタンを押す前に本体のGROUPボタンを押します。表示窓に「GROUP OFF」が表示されGROUP表示が消えます(グループ録音モード「オフ」)。

● **CD-R/CD-RWディスクの録音**
手順4の REC STARTボタンを押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示されデジタル録音はできません。「ANALOG REC」が表示されアナログ録音になります。また倍速録音も等速録音に自動で切換わります。

〈お知らせ〉
● MDを入れたあと約10秒間は、REC STARTボタンを押しても録音はスタートしません。これは、録音の準備をしているためです。
● 録音モードが長時間(SP➡LP2➡LP4)になるにしたがって音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードのSPをお勧めします。
● ディスクの空きがSP(標準モード)で12秒以上ないと、表示窓に「BMD DISC FULL」が表示され録音できません。

CDの１曲録音

1 **リモコンの数字ボタンで録音したい曲を演奏する（ダイレクト演奏）**

2 **本体のREC MODEで録音モード／録音スピードを選ぶ**

➡㉞ページの手順*3*参照

3 **本体の REC STARTを押す**

・演奏中の曲の頭に戻り、１曲録音になります。
　CDの演奏が終ると、録音も自動停止します。
・１曲だけでもグループ録音することができます。

CDを録音中に表示窓の表示を変える

本体のDISPLAY/CHARAまたはリモコンのDISP/CHARAボタンを使います。押すごとに次のように変わります。

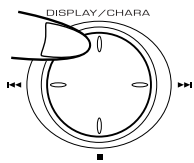
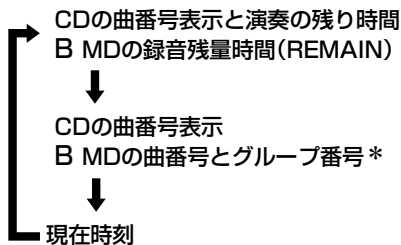
本　体

CDの曲番号表示と演奏の残り時間
B MDの録音残量時間（REMAIN）

↓

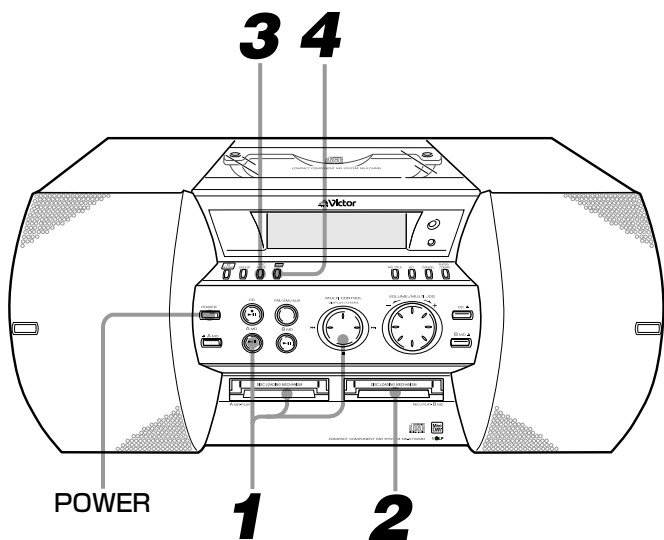
CDの曲番号表示
B MDの曲番号とグループ番号＊

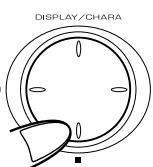
↓

現在時刻

＊ グループ録音モードが「オン」のときのみ表示されます。

〈お知らせ〉

● 録音モード（SP、LP2またはLP4）の設定によってMDの録音残量表示も変わります。
● 途中まで録音してあるMDの場合、その終わりを自動的に探して次の録音を始めます。
　新たに録音し直すときは、ALL ERASE（➡㊽ページ参照）で全部の曲を消してから録音してください。曲とグループが全て消去されます。
● 倍速録音中は、CDの演奏音を聞くことはできません。音量調節や音質調節の操作をすると、「CANNOT LISTEN!」とスクロール表示されます。
● 倍速録音が終了したCDの曲は、その曲の録音開始から74分を経過しないと、再び録音することはできません。
　万一、録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示され、そのあと録音が解除されます。
　またCDからMDに倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計101曲以上録音することはできません。100曲までの録音ができます。
● 倍速録音を始めてから74分以内に電源コードをコンセントから抜いてしまうと、再度録音が可能になるまでの内蔵タイマーの動作が一時停止します。74分以上経過するまで電源コードは抜かないでください。
● 本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎなおしてください。

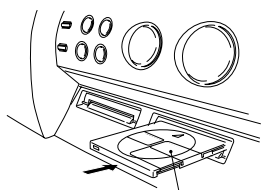
A MDをシンクロ録音する ー番号順に操作します。ー

● MDの録音に同期してA MDの演奏も始まります。

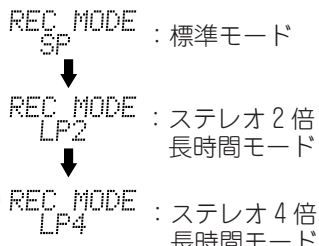
1 演奏用のMDをA MDデッキに入れ、A MD ▶/II➡■(停止)を押す

・ソースが「A MD」になります。
電源が入っていないときは、POWERを押してから操作します。

2 録音用のMDをB MDデッキに入れる

・ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込みます。
・未使用のMDの場合、ソース(音源)が「B MD」のときに限り「BLANK DISC」が表示されます。

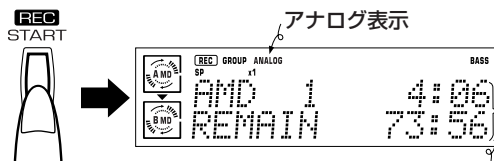
ラベル面を上に

● 好きな曲だけ録音するには…
①リモコンのPLAY MODEボタンを押してプログラム演奏のモードにする
②数字ボタンを押してプログラムする
➡詳しくは㉔ページ参照

3 REC MODEで録音モードを選ぶ(等速録音のみ)

REC MODE SP：標準モード
↓
REC MODE LP2：ステレオ2倍長時間モード
↓
REC MODE LP4：ステレオ4倍長時間モード

・グループ録音するときは、GROUP表示が点灯しているか確認します。

・お買い上げ時は 、REC MODE SP(標準モードのステレオ録音)になっています。(モノラルの2倍長録音はできません)

4 REC STARTを押す➡録音スタート

例：標準モードでアナログ録音のとき

・表示窓に「AMD➡BMD SP REC START!」と REC が表示され、MDを一つのグループとして録音します。(グループ録音モード「オン」)。
・録音用MDの場合、「ANALOG」が表示され、自動でアナログ録音になります。
・曲の変わり目では、自動で曲番号(トラックマーク)がつけられ、番号も変わります。

● MDの録音が終わると

「WRITING」が点滅表示されたあと自動停止します。
A MDの演奏が終ったときも自動停止します。

● 録音を途中でやめるには

■(停止)ボタンを押します。
「WRITING」が点滅表示され､録音が停止します。

● グループ録音したくないときは

手順**4**の REC STARTボタンを押す前に本体のGROUPボタンを押します。表示窓に「GROUP OFF」が表示されGROUP表示が消えます(グループ録音モード「オフ」)。

〈お知らせ〉

● MDを入れたあと約10秒間は、REC STARTボタンを押しても録音はスタートしません。これは、録音の準備をしているためです。
● 録音モードが長時間(SP➡LP2➡LP4)になるにしたがって音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードのSPをお勧めします。
● A MDデッキのMDにディスク名がついていると、未使用のMDの録音のときに限りコピーされます。また曲タイトルもコピーされますが、グループ名はコピーされません。
● 録音中、MD部から周期的に動作音が出ますが、これは故障ではありません。

A MDの１曲録音

● ソース（音源）が「A MD」のとき

1 **リモコンの数字ボタンで録音したい曲を演奏する（ダイレクト演奏）**

2 **本体のREC MODEで録音モードを選ぶ**

➡36ページの手順***3***参照

3 **本体のREC STARTを押す**

・演奏中の曲の頭に戻り、1曲録音になります。
　A MDの演奏が終ると、録音も自動停止します。

・１曲だけでもグループ録音することができます。

MDを録音中に表示窓の表示を変える

本体のDISPLAY/CHARAまたはリモコンのDISP/CHARAボタンを使います。押すごとに次のように変わります。

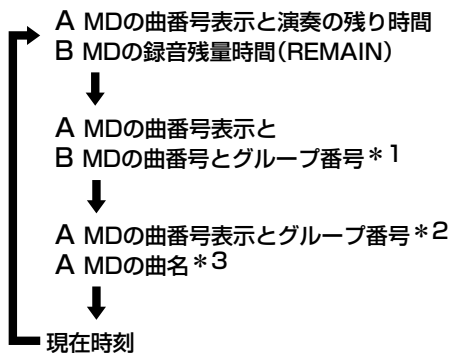
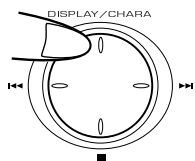
本　体

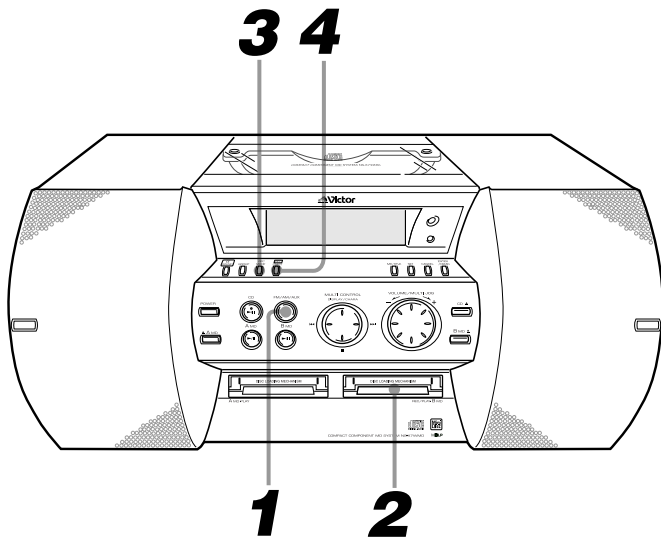
リモコン

A MDの曲番号表示と演奏の残り時間
B MDの録音残量時間（REMAIN）

A MDの曲番号表示と
B MDの曲番号とグループ番号＊1

A MDの曲番号表示とグループ番号＊2
A MDの曲名＊3

現在時刻

＊1　グループ録音モードが「オン」のとき表示されます。
＊2　グループ分けされていないときは、表示されません。
＊3　記録されていないときは、「TRACK NO TITLE」が表示されます。

放送(ラジオ)を録音する ー番号順に操作します。ー

● 放送(ラジオ) ➡ MDに録音

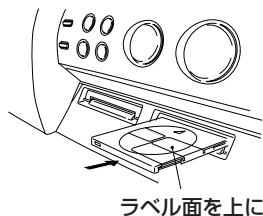
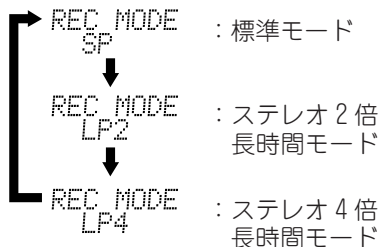
1 録音ソース(FMまたはAM放送)を選ぶ

例：FM放送を録音するとき

FM/AM/AUXボタンを押して録音したいFM放送を選ぶ。
➡詳しくは㉚ページ参照

2 録音用のMDをB MDデッキに入れる

・ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込みます。
・未使用のMDの場合、ソース(音源)が「B MD」のときに限り「BLANK DISC」が表示されます。

3 REC MODEで録音モードを選ぶ(等速録音のみ)

：標準モード
：ステレオ2倍長時間モード
：ステレオ4倍長時間モード

・お買い上げ時はREC MODE SP(標準モードのステレオ録音)になっています。
(モノラルの2倍長録音はできません)
・グループ録音するときは、GROUP表示が点灯しているか確認します。

4 REC STARTを押す➡録音スタート

例：FM放送の標準モード録音のとき

カウントダウンします。

・表示窓に「FM➡BMD SP REC START!」と REC が表示され、グループ録音になります。(グループ録音モード「オン」)。

● **MDの録音が終わると**
「WRITING」が点滅表示されたあと自動停止します。

● **録音を途中でやめるには**
■(停止)ボタンを押します。
「WRITING」が点滅表示され、録音が停止します。

● **曲番号(トラックマーク)をつけるには**
放送を録音中に、SETボタンを押すと曲番号(トラックマーク)をつけることができます。
このとき表示窓には、「TRACK MARKING」が約4秒間表示されます。録音が終わったら編集機能(➡㊴ページ参照)で整理しておくことをお勧めします。

〈お知らせ〉
● MDを入れたあと約10秒間は、REC STARTボタンを押しても録音はスタートしません。これは、録音の準備をしているためです。
● 録音モードが長時間(SP➡LP2➡LP4)になるにしたがって音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードのSPをお勧めします。
● グループ録音したくないときは、手順**4**の REC START ボタンを押す前にGROUPボタンを押してGROUP表示を消し、グループ録音モードを「オフ」にします。

MDの編集について

MDは録音·再生の他に編集という機能を持っています。録音した曲を好きなところでつないだり、分けたり、消すことができます。またMDや曲に名前をつけることもできます。B MDデッキを使います。

編集モードについて

ここでは通常の編集モードの使いかたを説明します。
リモコンのTITLE/EDITボタンを押すと、以下のように編集モードが選べます。グループ録音に関係なくできます。

リモコン

*トラックマークとは…
曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号です。

- **FORM GROUP?(グループを作る)の操作は54ページをご覧ください。**
- グループ編集は49〜61ページをご覧ください。
- 本体のMD TITLEボタンでもディスク名をつけることができます。➡㊵ページ参照

MDや曲に名前をつける(TITLE)

録音済みのMDにディスク名や曲名をつけることができます。文字の種類は、「カタカナ、英大文字・英小文字・記号、数字」があります。

〈お知らせ〉

● MDに入力できる文字数について

1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。カタカナを使用したときも、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。またスペース(空白)は、文字と同じ量のデータを必要としています。
ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭に「LP:」とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。
例：
・ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは､全曲に英数字で10文字ずつ入力することができます。
・ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは､全曲にカタカナで10文字ずつ入力することができます。

タイトルリザーブ機能

CDを録音中(1曲録音は除く)は、録音中に限り16曲分の曲名を先行して入力できます。これをタイトルリザーブといいます。ただし、録音する曲より多くの曲名を入力すると、はみ出した曲名は取り消されます。

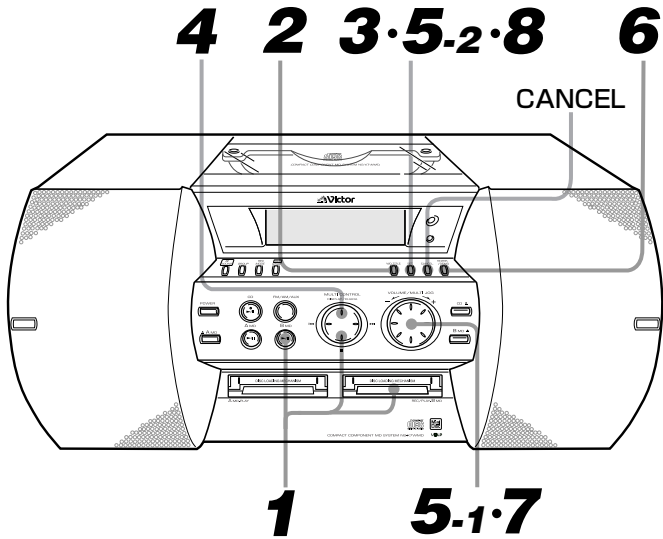
ご注意

- 「WRITING」が点滅表示される前に､電源コードをコンセントから抜くと編集した内容は､MDに記録されません。

〈お知らせ〉

- 編集の操作は、MDが誤消去防止状態になっているとできません。誤消去防止つまみを閉じた状態に戻してください。

編集する

MDにディスク名や曲名をつける(TITLE:本体)

● ディスク名をつけるには

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/❚❚➡■(停止)を押す

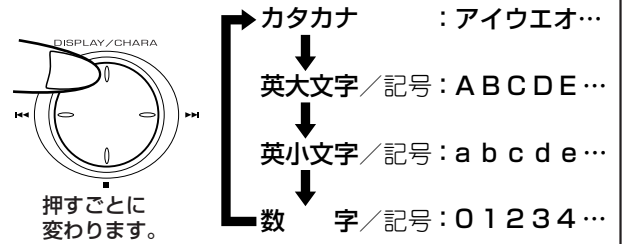
・ソース(音源)が「B MD」になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 MD TITLEを押して「DISC TITLE?」を選ぶ

・このあとMULTI JOGを右方向に回すと、曲名をつけるモードになります。やめるときはCANCELを押します。

3 SETを押す

・すでにディスク名が記録されていると、その名前が表示されます。

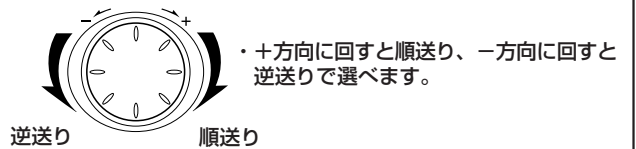
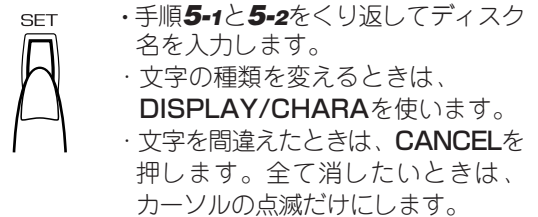
4 DISPLAY/CHARAで文字の種類を選ぶ

詳しくは➡41ページ「文字配列表」参照

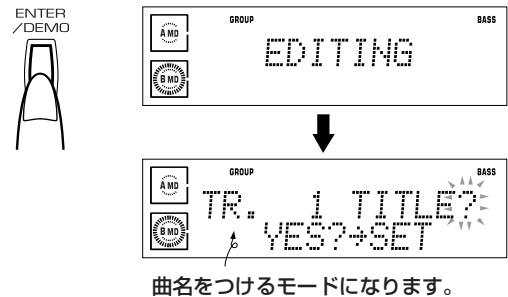
5 MULTI JOG➡SETでディスク名をつける(最大61文字まで)

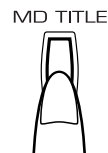
5-1 MULTI JOGで文字を選ぶ

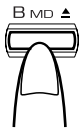
・+方向に回すと順送り、−方向に回すと逆送りで選べます。

5-2 SETを押して確定する
(カーソルが右に移動します)

・手順**5-1**と**5-2**をくり返してディスク名を入力します。
・文字の種類を変えるときは、DISPLAY/CHARAを使います。
・文字を間違えたときは、CANCELを押します。全て消したいときは、カーソルの点滅だけにします。

6 ENTERを押す

曲名をつけるモードになります。

41 ページへ続く

● 編集操作を途中で止めるには

手順 **6**のENTERを押す前にMD TITLEを押します。
編集操作が解除されます。

- **ディスク名をつける操作を終わるときは**
  本体のB MD▲を押します。

「WRITING」が点滅表示され、編集した内容をMDに記録したあとMDが出てきます。

- 手順*6*に続いて曲名をつけるには

7 MULTI JOGを右方向に回して曲を選ぶ

・手順*6*に続いて１曲目でOKのときは、この操作は必要ありません。手順*8*へ進みます。

（さらに右方向に回すと、そのMDの最後の曲まで選べます。左方向に回すとDISC TITLE? に戻せます）

8 SETを押す

例：１曲目のとき

・すでに曲名が記録されていると、その名前が表示されます。文字を消すときは、CANCELを押します。

9 40ページ手順*4*～*6* の操作で曲名をつける

１曲つけ終わると次の曲の入力待ちになり、最後の曲に曲名をつけ終わると再びその曲の入力待ちになります。
ENTERボタンを押して終了します。
曲名をつけ終ったらB MD▲ボタンを押してMDを取り出します。

CDを録音中に曲名をつけるには

録音している曲を演奏中に…

1 MD TITLEを押す

2 SETを押す

3 DISPLAY/CHARAを押して文字の種類を選ぶ

4 MULTI JOGで文字を選びSETを押して曲名をつける（タイトルリザーブ機能で最大16曲まで入力できます）

5 ENTERを押す

〈お知らせ〉

- **曲名だけ入力するには**
  40ページ手順*2*のあとMULTI JOGを右方向に回して曲名をつけるモードにしたあと手順*3*以降の操作をします。
- **入力済みの文字を消すには**
  入力済みの文字を消すときは、40ページの手順 *3*のとき、その名前が表示されカーソルが点滅表示されます。このときCANCELボタンを押して文字を消します。そのあと文字を入力し直してください。
- ゜や゛は、半濁音や濁音になる文字以外には入れることができません。

- **文字配列表**

カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	(空白)	カ	キ	ク	ケ	コ	(空白)
サ	シ	ス	セ	ソ	(空白)	タ	チ	ツ	テ	ト	(空白)
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	(空白)	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	(空白)
マ	ミ	ム	メ	モ	(空白)	ヤ	ユ	ヨ	(空白)		
ラ	リ	ル	レ	ロ	(空白)	ワ	ヲ	ン	(空白)		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	(空白)		
ー	゜	゛									

英大文字／記号

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)	!	”	#
$	%	&	’	(	)	＊	+	,	—
.	／	:	;	<	=	>	?	@	_
`									

英小文字／記号

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)	!	”	#
$	%	&	’	(	)	＊	+	,	—
.	／	:	;	<	=	>	?	@	_
`									

数字／記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)
＊	+	,	—	.	／	:	;	<	=
>	?	@	_	`					

編集する

MDにディスク名や曲名をつける(TITLE:リモコン)

● ディスク名をつけるには

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/❚❚➡■(停止)を押す

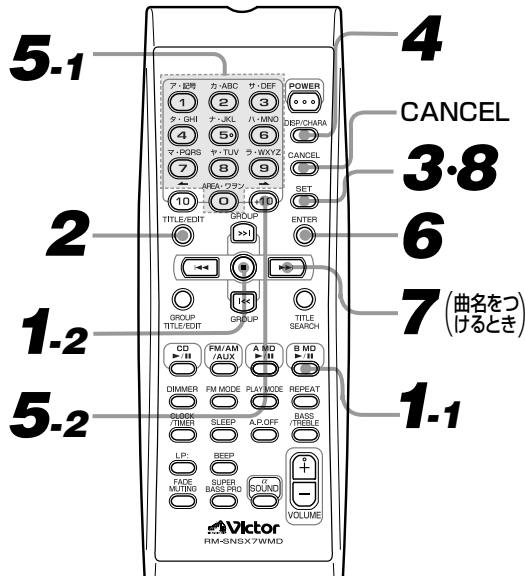
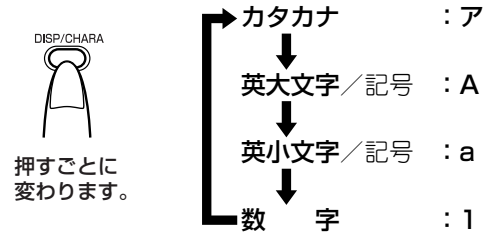
・ソース(音源)が「B MD」になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。

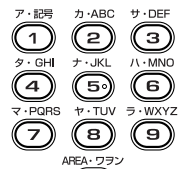
2 TITLE/EDITを押して「DISC TITLE?」を選ぶ

3 SETを押す

・すでにディスク名が記録されているとその名前が表示されます。

4 DISP/CHARAで文字の種類を選ぶ

押すごとに変わります。

詳しくは➡43ページ「文字配列表」参照

5 数字ボタンでディスク名をつける(最大61文字まで)

5-1 数字ボタンで文字を選ぶ
(例：カタカナのとき)

・ア行の文字の入力は…

1ボタンを押すと、押すごとに

ア→イ→ウ→エ→オ
↑オ←エ←ウ←イ←ア←

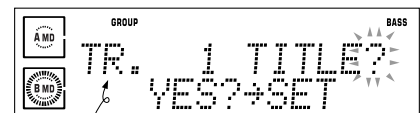
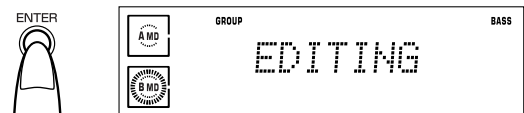
と選べます。

(ワヲンと゛ー゜は、0ボタンを使います)

5-2 ＋10ボタンを押して確定する(カーソルが右に移動します)

・空白(スペース)を入れるときも＋10ボタンを押します。

・別の数字ボタンを押したときも確定できます。
・手順**5-1**と**5-2**のくり返しでディスク名を入力します。
・文字の種類を変えるときは、DISP/CHARAを使います。
・間違えたときはCANCELボタンで取り消します。
・途中の文字を消したいときは10ボタンと＋10ボタンでカーソルを文字に合わせCANCELボタンを押します。

6 ENTERを押す

曲名をつけるモードになります。

(TITLEを中止したいときは、CANCELボタンを押します)

43 ページへ続く

● ディスク名をつける操作を終わるときは

本体のB MD▲を押します。

「WRITING」が点滅表示され、編集した内容をMDに記録したあとMDが出てきます。

● 手順6に続いて曲名をつけるには

7 ▶▶Iで曲を選ぶ

・手順6に続いて1曲目でOKのときは、この操作は必要ありません。手順8へ進みます。

（くり返して押すと、そのMDの最後の曲まで選べます）

8 SETを押す

例：1曲目のとき

・すでに曲名が記録されているときは、その名前が表示されます。文字を消すときは、CANCELを押します。

9 42ページ手順4〜6 の操作で曲名をつける

1曲つけ終わると次の曲の入力待ちになり、最後の曲に曲名をつけ終わると再びその曲の入力待ちになります。ENTERボタンを押して終了します。
曲名をつけ終ったらB MD▲ボタンを押してMDを取り出します。

● 編集操作を途中で止めるには

手順6のENTERを押す前にTITLE/EDITを押します。
編集操作が解除されます。

CDを録音中に曲名をつけるには

録音している曲を演奏中に…

1 リモコンの TITLE/EDITを押す

2 SETを押す

3 DISP/CHARAを押して文字の種類を選ぶ

4 数字ボタンを押して曲名をつける（タイトルリザーブ機能で最大16曲まで入力できます）

5 ENTERを押す

〈お知らせ〉

● 曲名だけ入力するには
42ページ手順2のあと手順7以降の操作で曲名を入力してください。

● 入力済みの文字を消すには…
入力済みの文字を消すときは、42ページの手順 3のとき、その名前が表示されカーソルが点滅表示されます。このときCANCELボタンを押して文字を消します。そのあと文字を入力し直してください。

● ゜や゛は、半濁音や濁音になる文字以外には入れることができません。

● 文字配列表

ボタン	カタカナ	英大	英小	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
AREA・ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊記号で表示する内容

□ｽﾍﾟｰｽ(空白)	！	”	＃	＄	％	＆	’	（ ）	＊	＋
，	ー	．	／	：	；	＜	＝	＞	？	＠	＿	｀

曲を分ける(DIVIDE) ―番号順に操作します。―

(ディバイド)

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD ▶/❚❚ ➡ ■(停止)を押す

・ソース(音源)が「B MD」になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 TITLE/EDITを数回押して「DIVIDE?」を選ぶ

点滅

3 SETを押す

・1曲目がくり返し演奏になります。

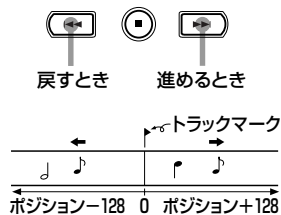
4 数字ボタンで分けたい曲を選ぶ (ダイレクト選曲になります)

例: 3曲目のとき

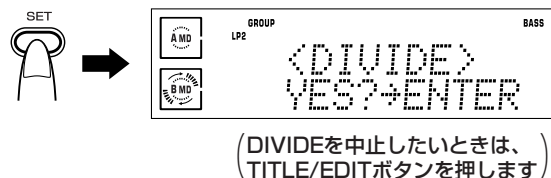
・選んだ曲(3曲目)がくり返し演奏になります。
▶▶❙ボタンで選ぶこともできます。

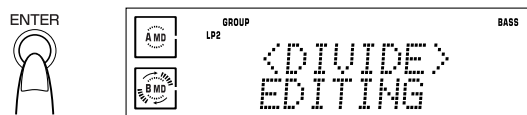
5 分けたいところでSETを押す

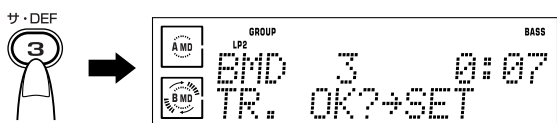
POSITION + 0
OK?→SET

・その場所から4秒後までがくり返し演奏されます。

・ポジション−128〜+128(SP:標準モード時で前後約8秒)の範囲でトラックマークが移動できます。移動した所から4秒後(SP:標準モード時)がくり返し演奏されます。

6 SETを押す

GROUP BASS LP2
<DIVIDE>
YES?→ENTER

(DIVIDEを中止したいときは、TITLE/EDITボタンを押します)

7 ENTERを押す

・「WRITING」が点滅表示され、曲番号が1つ増えます。

GROUP BASS
BMD 5 GR. 1
20:48

〈お知らせ〉

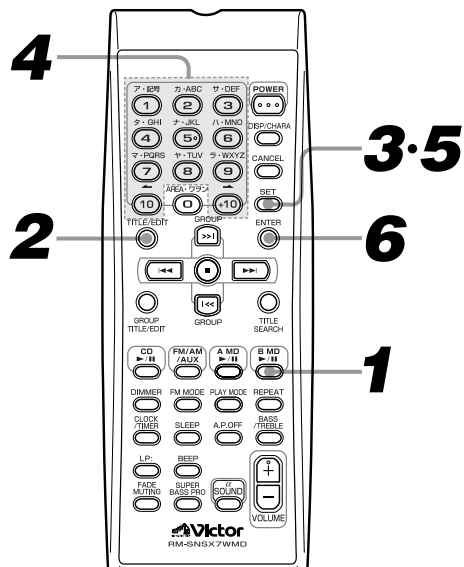
- 手順**2**のときTITLE/EDITボタンを押すと、押すごとに

DISC TITLE? ➡ FORM GROUP? ➡ DIVIDE? ➡ JOIN? ➡ MOVE? ➡ ERASE? ➡ ALL ERASE? ➡ 編集モード解除(ソースの表示) ➡ DISC TITLE?

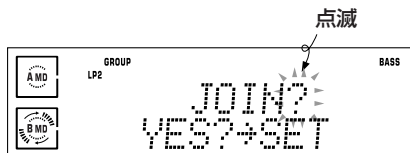
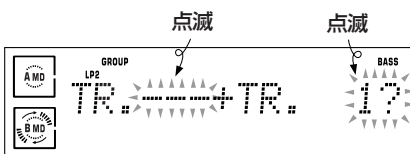
と選べます。

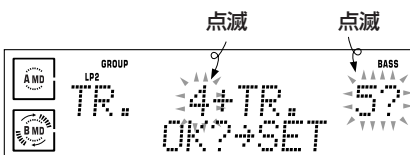
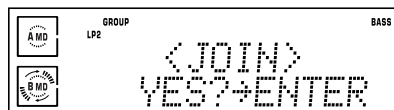
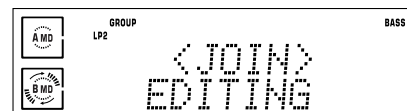
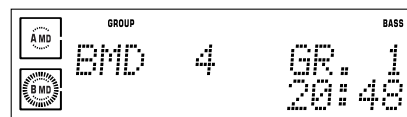
- 手順**3**〜**5**で演奏を停止したときは、B MD ▶/❚❚を押して手順**4**から再開してください。

(DIVIDEを中止したいときは、TITLE/EDITボタンを押してください)

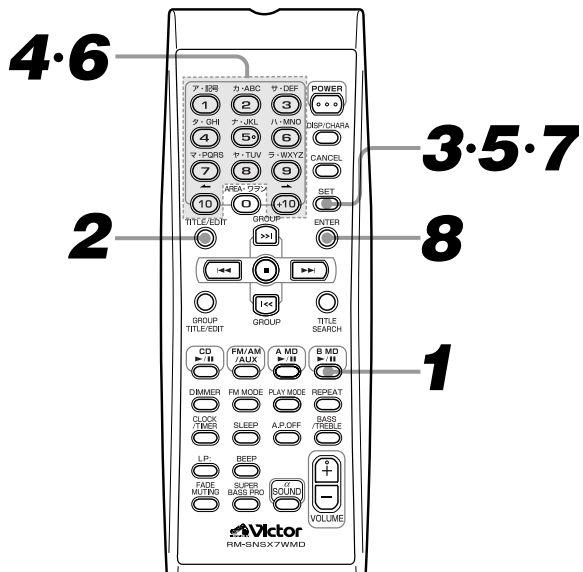
曲をつなげる(JOIN)　ー番号順に操作します。ー

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/❚❚を押す

・ソース(音源)が「B MD」になり、1曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)

2 TITLE/EDITを数回押して「JOIN?」を選ぶ

3 SETを押す

4 数字ボタンでつなげたい曲を選ぶ
(1つ前の曲とつなげることができます)

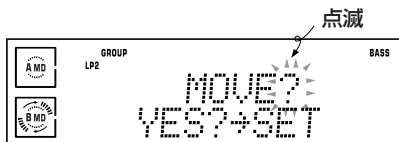
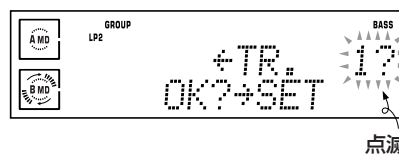
例：5曲目を4曲目と1つにするとき

・選んだ曲(5曲目)がくり返し演奏になります。▶▶❙ボタンで選ぶこともできます。

5 SETを押す

〈お知らせ〉

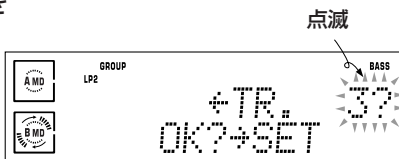
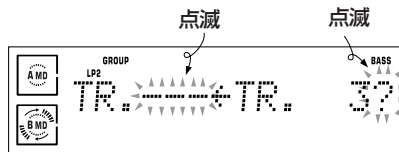
- 次のような曲は「CANNOT JOIN」が表示され、つなげることはできません。
  - ・録音モード(SP、LP 2またはLP 4)の異なる曲
  - ・他の機器でモノラル長時間録音した曲と、本機で録音した曲
  - ・デジタル録音した曲とアナログ録音した曲
- 1曲のみ録音されているMDの場合は、つなげる曲がないためこのモードにはなりません。

曲を移動する(MOVE) ―番号順に操作します。―

(ムーブ)

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD►/IIを押す

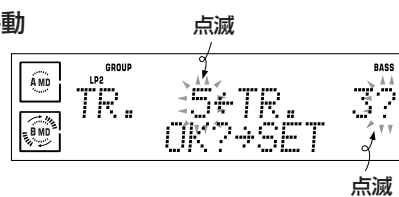
・ソース(音源)が「B MD」になり、1曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)

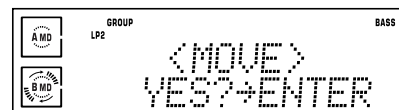
2 TITLE/EDITを数回押して「MOVE?」を選ぶ

3 SETを押す

4 数字ボタンで移動したい曲を選ぶ

例： 3曲目のとき

・選んだ曲(3曲目)がくり返し演奏になります。
►►Iボタンで選ぶこともできます。

5 SETを押す

・このあとCANCELボタンを押すと、手順4に戻り曲を選び直すことができます。

6 数字ボタンで移動先を選ぶ

例： 5曲目に移動

・選んだ曲(5曲目)がくり返し演奏になります。

7 SETを押す

(MOVEを中止したいときは、TITLE/EDITボタンを押します)

8 ENTERを押す

・「WRITING」が点滅表示され、曲順が変わります。

〈お知らせ〉

● 1曲のみ録音されているMDの場合は、移動先がないためこのモードにはなりません。

曲を消す(ERASE)—番号順に操作します。—

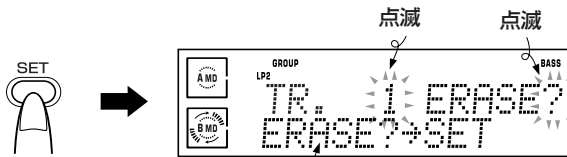
(ERASE の読み:イレース)

● 最大15曲まで選んでから消すことができます。

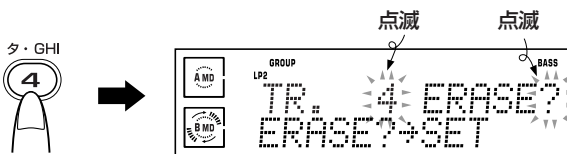
1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/❚❚を押す

・ソース(音源)が「B MD」になり、1曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)

2 TITLE/EDITを数回押して「ERASE?」を選ぶ

3 SETを押す

以下手順**5**まで「SELECT TRACK」と交互に表示

4 数字ボタンで消したい曲を選ぶ

例: 4曲目を消すとき

・選んだ曲(4曲目)がくり返し演奏になります。
(消したい曲の曲番号に合わせて数字ボタンを押します)
▶▶❙ボタンで選ぶこともできます。

5 SETを押す

(ERASEを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

6 手順4と5をくり返す

・最大15曲まで選べます。
・1曲のみを消すときは手順**7**へ進みます(この操作の例の場合)。

7 ENTERを押す

(編集操作を中止するときは、TITLE/EDITボタンを押します)

8 もう一度ENTERを押す

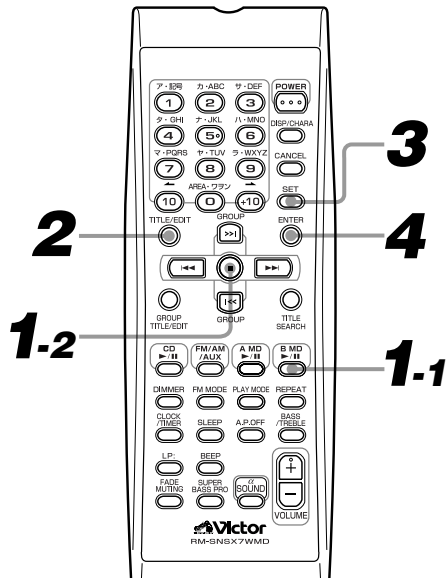
・「WRITING」が点滅表示され、4曲目が消えます。5曲目が前につめられます。

〈お知らせ〉

● 一度消去すると録音内容は元には戻りません。
大切な録音が入っているMDは誤消去防止つまみを開いた状態(➡8ページ参照)にしておいてください。

全部の曲を消す（ALL ERASE） ー番号順に操作します。ー

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/II➡■（停止）を押す

・ソース（音源）が「B MD」になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 TITLE/EDITを数回押して「ALL ERASE?」を選ぶ

点滅

ALL ERASE?
YES?→SET

3 SETを押す

（ALL ERASEを中止したいときは、TITLE/EDITボタンを押します）

4 ENTERを押す

・「WRITING」が点滅表示されたあと、全部の曲が消えます。

〈お知らせ〉

- 一度消去すると録音内容は元には戻りません。
  大切な録音が入っているMDは誤消去防止つまみを開いた状態（➡8ページ参照）にしておいてください。

MDのグループ編集について

グループ編集のモードについて

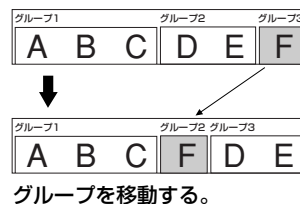
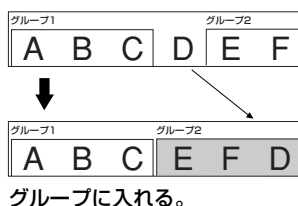
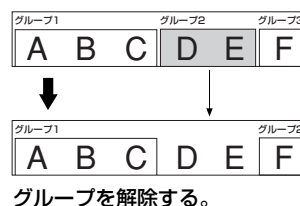
MDにタイトルをつけたり編集する操作は、39～48ページの通常の編集の他にグループ編集ができます。
グループ録音されたMDを入れたあと、リモコンのGROUP TITLE/EDITボタンを押すと以下のようにグループ編集のモードが選べます。

リモコン

＊ グループに登録されていないときは、「GROUP－－TITLE?」が表示されます。

- DISC TITLE?（ディスク名をつける）、ALL ERASE?（全曲を消す）の操作は、グループ録音されていなくてもできます。
- 本体のMD TITLEボタンでもグループ名をつけることができます。➡50ページ参照

●グループ編集のイメージ図

FORM GROUP

グループを作る。

MOVE GROUP

グループを移動する。

ENTRY GROUP

グループに入れる。

UNGROUP

グループを解除する。

DIVIDE GROUP

グループを分ける。

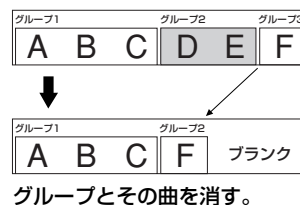
UNGROUP ALL

全グループを解除する。

JOIN GROUP

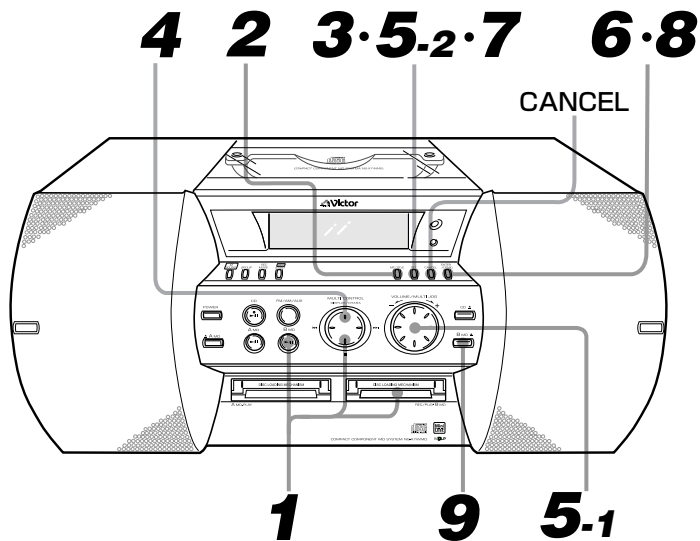
グループをつなげる。

ERASE GROUP

グループとその曲を消す。

〈お知らせ〉

- 編集の操作は、MDが誤消去防止状態になっているとできません。誤消去防止つまみを閉じた状態に戻してください。
- グループ録音されていないMDの場合、グループ編集のモードは表示されません。
- **MDに入力できる文字数**については39ページをご覧ください。

編集する

MDにグループ名をつける(GROUP TITLE:本体)

● グループ名をつけるには

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「B MD」になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 MD TITLEを2回押して「GROUP 1 TITLE?」を選ぶ

・このあとMULTI JOGを右方向に回すと、別のグループが選べます。やめるときはCANCELを押します。
・グループに登録されていないときは、「GROUP －－ TITLE?」表示になります。MULTI JOGを右方向に回して「GROUP1 TITLE?」表示にします。

3 SETを押す

・すでにグループ名が記録されていると、その名前が表示されます。

4 DISPLAY/CHARAで文字の種類を選ぶ

詳しくは➡ 51 ページ「文字配列表」参照

5 MULTI JOG➡SETでグループ名をつける(最大61文字まで)

5-1 MULTI JOGで文字を選ぶ

・＋方向に回すと順送り、－方向に回すと逆送りで選べます。

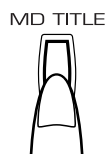
5-2 SETを押して確定する
(カーソルが右に移動します)

・手順**5-1**と**5-2**をくり返してグループ名を入力します。
・文字の種類を変えるときは、DISPLAY/CHARAを使います。
・文字を間違えたときは、CANCELを押します。全て消したいときは、カーソルの点滅だけにします。

6 ENTERを押す

グループ2にグループ名をつけるモードになります。

51 ページへ続く

● 編集操作を途中で止めるには

手順 **6**のENTERを押す前にMD TITLEを押します。
編集操作が解除されます。

● 続けて次のグループ名を入力するには

7 SETを押す

・以下50ページの手順4〜6の操作で次のグループ名をつけます。

⋮

・グループ名を入力済みのグループ番号が表示されたり、グループ名の入力を終了するときは、手順8へ進みます。

8 ENTERを押す

・曲数とグループ番号、演奏時間が表示されます。

9 B MD⏏を押す

・「WRITING」が点滅表示され、編集した内容をMDに記録したあとMDが出てきます。

〈お知らせ〉

- **入力済みの文字を消すには…**
  入力済みの文字を消すときは、50ページの手順3のとき、その名前が表示されカーソルが点滅表示されます。このときCANCELボタンを押して文字を消します。そのあと文字を入力し直してください。
- ゜や゛は、半濁音や濁音になる文字以外には入れることができません。
- **グループ名は、グループ機能に対応していない機器では表示されません。**

● 文字配列表

カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	(空白)	カ	キ	ク	ケ	コ	(空白)
サ	シ	ス	セ	ソ	(空白)	タ	チ	ツ	テ	ト	(空白)
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	(空白)	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	(空白)
マ	ミ	ム	メ	モ	(空白)	ヤ	ユ	ヨ	(空白)		
ラ	リ	ル	レ	ロ	(空白)	ワ	ヲ	ン	(空白)		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	(空白)		
ー	゜	゛									

英大文字／記号

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)	!	”	#
$	%	&	’	(	)	＊	+	,	ー
.	／	:	;	<	=	>	?	@	_
、									

英小文字／記号

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)	!	”	#
$	%	&	’	(	)	＊	+	,	ー
.	／	:	;	<	=	>	?	@	_
、									

数字／記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)
＊	+	,	ー	.	／	:	;	<	=
>	?	@	_	、					

MDにグループ名をつける(GROUP TITLE:リモコン)

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD ▶/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「B MD」になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 GROUP TITLE/EDITを数回押して「GROUP1 TITLE?」を選ぶ

・グループに登録されていないときは、「GROUP−− TITLE?」表示になります。GROUP >>I を押して「GROUP1 TITLE?」表示にします。

3 SETを押す

・すでにグループ名が記録されていると、その名前が表示されます。

4 DISP/CHARAで文字の種類を選ぶ

詳しくは➡53ページ「文字配列表」参照

5 数字ボタンでグループ名をつける(最大61文字まで)

5-1 数字ボタンで文字を選ぶ
(例:カタカナのとき)

・ア行の文字の入力は…

1ボタンを押すと、押すごとに

ア→イ→ウ→エ→オ→オ→エ→ウ→イ→ア

と選べます。

(ワヲンと゛ー゜は、0ボタンを使います)

5-2 +10ボタンを押して確定する
(カーソルが右へ移動します)

・空白(スペース)を入れるときも+10ボタンを押します。

・別の数字ボタンを押したときも確定できます。
・手順**5-1**と**5-2**のくり返しでグループ名を入力します。
・文字の種類を変えるときは、DISP/CHARAを使います。
・間違えたときはCANCELボタンで取り消します。
・途中の文字を消したいときは10ボタンと+10ボタンでカーソルを文字に合わせCANCELボタンを押します。

6 ENTERを押す

グループ2にグループ名をつけるモードになります。

(GROUP TITLEを中止したいときは、CANCELボタンを押します)

53 ページへ続く

●続けて次のグループ名を入力するには

7 SETを押す

・以下 52 ページの手順**4**～**6**の操作で次のグループ名をつけます。

⋮

・グループ名を入力済みのグループ番号が表示されたり、グループ名の入力を終了するときは、手順**8**へ進みます。

8 ENTERを押す

・曲数とグループ番号、演奏時間が表示されます。

9 本体のB MD▲を押す

・「WRITING」が点滅表示され、編集した内容をMDに記録したあとMDが出てきます。

●文字配列表

ボタン	カタカナ	英大	英小	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
AREA・ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊記号で表示する内容

□スペース(空白)	！	”	＃	＄	％	＆	’	（	）	＊	＋
，	ー	．	／	：	；	<	＝	>	？	＠	＿
｀											

●編集操作を途中で止めるには

手順**6**のENTERを押す前に
GROUP TITLE/EDITを押します。
編集操作が解除されます。

〈お知らせ〉

- **入力済みの文字を消すには…**
  入力済みの文字を消すときは、52ページの手順**3**のとき、その名前が表示されカーソルが点滅表示されます。このときCANCELボタンを押して文字を消します。
  そのあと文字を入力し直してください。
- ゜や゛は、半濁音や濁音になる文字以外には入れることができません。
- **グループ名は、グループ機能に対応していない機器では表示されません。**

グループを作る(FORM GROUP) ー番号順に操作します。ー

- グループ分けされていない曲を選んでグループにします(連続した曲または1曲)。

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/❚❚を押す

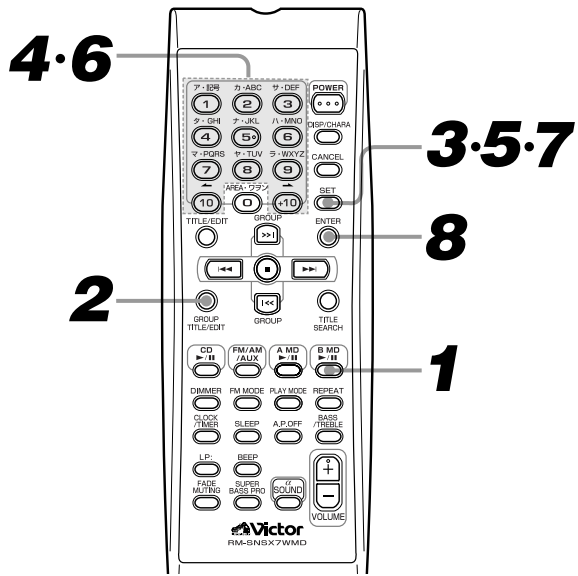
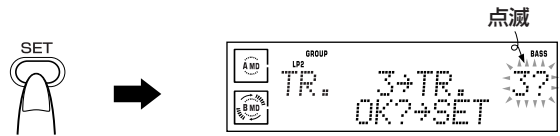
・ソース(音源)が「B MD」になり、1曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)

2 GROUP TITLE/EDITを数回押して「FORM GROUP?」を選ぶ

3 SETを押す

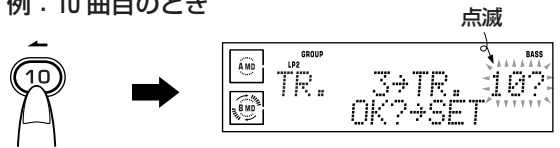
4 数字ボタンを押してグループにする先頭の曲を選ぶ

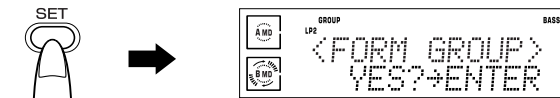
例: 3曲目を選んだとき

・選んだ曲がくり返し再生されます。▶▶❚ボタンで選ぶこともできます。

5 SETを押す

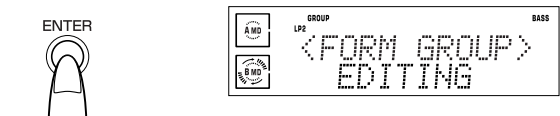
・他のグループに登録されている曲を選ぶと「GROUP TRACK」が表示されます。選び直してください。

6 数字ボタンを押してグループの最後の曲を選ぶ

例:10曲目のとき

・▶▶❚ボタンで選ぶこともできます。
・1曲だけグループにするときは、この操作は必要ありません。手順 **7** に進みます。

7 SETを押す

・他のグループに登録されている曲を選ぶと「GROUP TRACK」が表示されます。選び直してください。

(FORM GROUPを中止したいときは、GROUP TITLE/EDITボタンを押します)

8 ENTERを押す

・「WRITING」が点滅表示されたあと指定した曲がグループに登録されます。

〈お知らせ〉

- グループを作ると、後にあったグループの番号が一つ進みます。

- **「CANNOT FORM」が表示されたときは**

先頭の曲と最後の曲の間にグループがはさまれていると、グループを作ることはできません。このようなときは59ページの「グループを解除する(UNGROUP)」の操作でグループを解除してからグループを作り直してください。

グループに入れる(ENTRY GROUP)(エントリー グループ) —番号順に操作します。—

● グループに登録されていない曲をいずれかのグループに最後の曲として登録します。

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/❚❚を押す

・ソース(音源)が「B MD」になり、1曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)

2 GROUP TITLE/EDITを数回押して「ENTRY GROUP?」を選ぶ

点滅

3 SETを押す

点滅

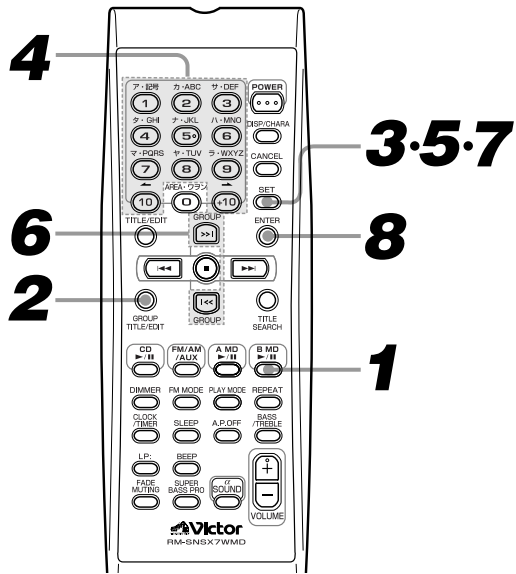
4 数字ボタンを押してグループに登録する曲を選ぶ

例： 6曲目のとき

点滅

・選んだ曲がくり返し再生されます。▶▶Iボタンで選ぶこともできます。

5 SETを押す

点滅

・選んだ曲がグループに登録されているときは、そのグループ番号が表示されます。

6 GROUP >>I(またはI<<)を押して登録するグループを選ぶ

例：グループ4のとき

点滅

・指定したグループの曲がくり返し演奏されます。

7 SETを押す

(ENTRY GROUPを中止したいときは、GROUP TITLE/EDITボタンを押します)

8 ENTERを押す

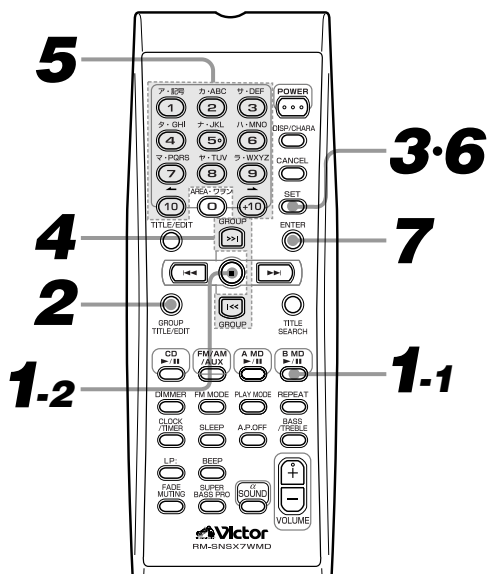
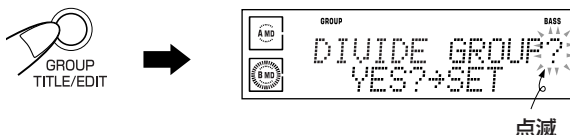
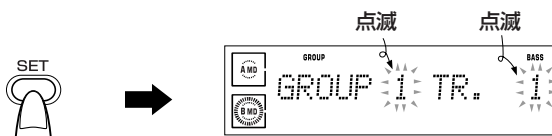
・「WRITING」が点滅表示され、指定した曲がグループ4に登録されます。

〈お知らせ〉

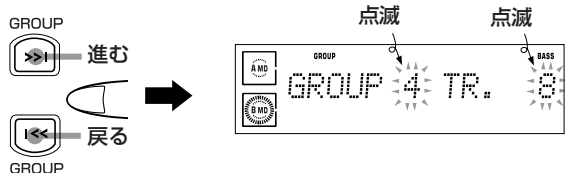
● すでにグループに登録されている曲を、同じグループに登録することはできません。「CANNOT ENTRY」が表示されます。別のグループを選んでください。

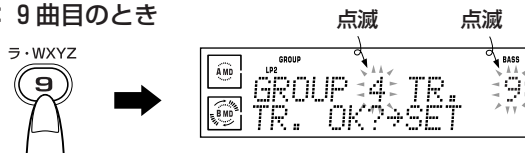
グループを分ける(DIVIDE GROUP) ー番号順に操作します。ー

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/❙❙➡■(停止)を押す

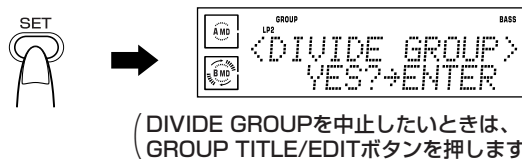
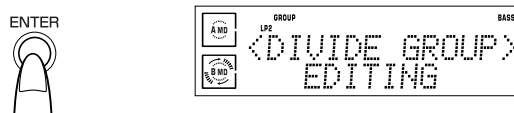
・ソース(音源)が「B MD」になり、曲数と演奏時間が表示されます。

2 GROUP TITLE/EDITを数回押して「DIVIDE GROUP?」を選ぶ

3 SETを押す

・ 1曲目がグループに登録されていないときは、「GROUP −− TITLE?」が表示されます。そのまま手順 **4** へ進みます。

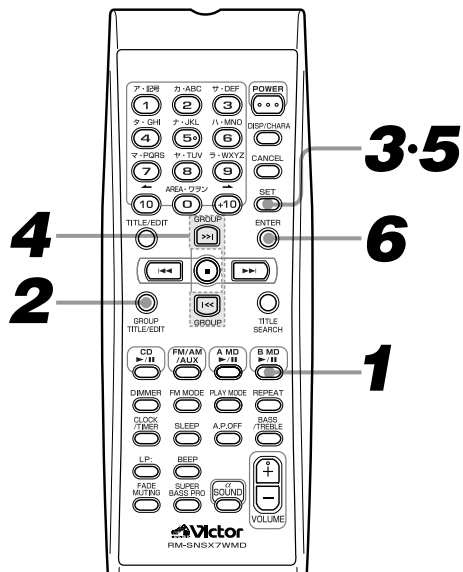
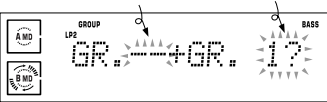
4 GROUP >>I(またはI<<)を押して分けたいグループを選ぶ

例：グループ4のとき

5 数字ボタンを押して分けたい先頭の曲を選ぶ

例： 9曲目のとき

・選んだグループの曲(グループ4の9曲目)が表示されます。▶▶❙ボタンで選ぶこともできます。
・グループに登録されていない曲を選ぶと「−−」が表示されます。
・グループの最初の曲を分けたい先頭にすることはできません。

6 SETを押す

(DIVIDE GROUPを中止したいときは、GROUP TITLE/EDITボタンを押します)

7 ENTERを押す

・「WRITING」が点滅表示され、グループ番号が1つ増えます。

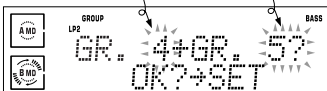
グループをつなげる(JOIN GROUP) ー番号順に操作します。ー

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/❚❚を押す

・ソース(音源)が「B MD」になり、1曲目からの演奏になります。
(曲の確認がしやすくなります)

2 GROUP TITLE/EDITを数回押して「JOIN GROUP?」を選ぶ

点滅

3 SETを押す

点滅　点滅

・グループに登録されていない曲を選ぶと「GR−− +GR−−?」が表示されます。

4 GROUP >>I(またはI<<)を押してつなげたいグループを選ぶ

(1つ前のグループとつなげることができます)

例：グループ5をグループ4と1つにするとき

・選んだグループの曲(グループ5の曲)がくり返し演奏になります。

5 SETを押す

(JOIN GROUPを中止したいときは、GROUP TITLE/EDITボタンを押します)

6 ENTERを押す

・「WRITING」が点滅表示され、グループ番号が1つ減ります。

〈お知らせ〉

● 「CANNOT JOIN」が表示されたときは
グループとグループの間にグループ登録されていない曲があります。このようなときは、58ページの「グループを移動する(MOVE GROUP)」でグループをとなりに移動してからつなげてください。

● 全曲が1つのグループのMDの場合は、グループをつなげることはできません。

グループを移動する(MOVE GROUP)—番号順に操作します。—

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD►/IIを押す

・ソース(音源)が「B MD」になり、1曲目からの演奏になります。
(曲の確認がしやすくなります)

2 GROUP TITLE/EDITを数回押して「MOVE GROUP?」を選ぶ

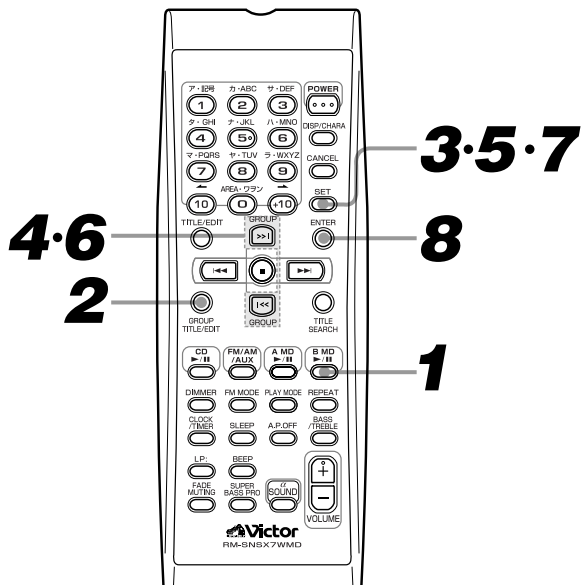
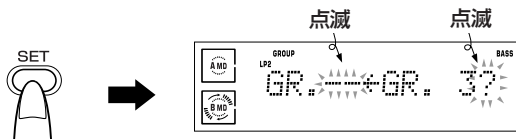
点滅

3 SETを押す

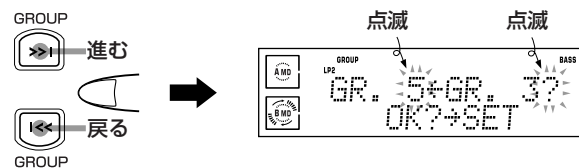
・グループに登録されていない曲を選ぶと「← GR. −− ?」が表示されます。

4 GROUP >>I(またはI<<)を押して移動するグループを選ぶ

例：グループ3のとき

・選んだグループの曲(グループ3の曲)がくり返し演奏になります。

5 SETを押す

6 GROUP >>I(またはI<<)を押して移動先のグループを選ぶ

例：グループ5に移動

・選んだグループの曲(グループ5の曲)がくり返し演奏になります。

7 SETを押す

(MOVE GROUPを中止したいときは、GROUP TITLE/EDITボタンを押します)

8 ENTERを押す

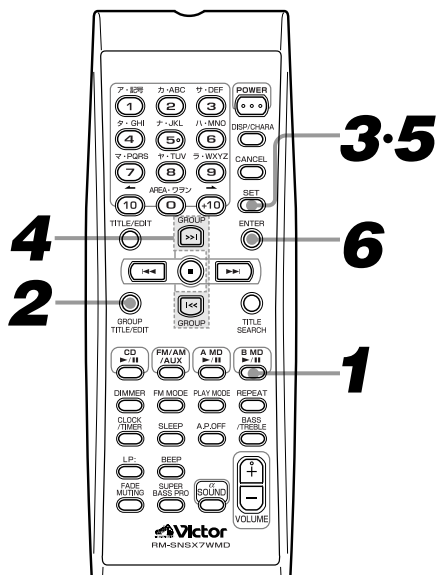
・「WRITING」が点滅表示され、グループ順が変わります。

〈お知らせ〉

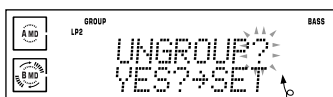
● 全曲が1つのグループのMDの場合は、グループを移動することはできません。

グループを解除する（UNGROUP） ー番号順に操作します。ー

（UNGROUP：アングループ）

● 指定した一つのグループを解除します。

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/❚❚を押す

・ソース（音源）が「B MD」になり、1曲目からの演奏になります。
（曲の確認がしやすくなります）

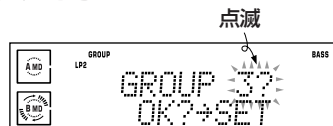
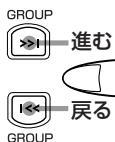
2 GROUP TITLE/EDITを数回押して「UNGROUP?」を選ぶ

点滅

3 SETを押す

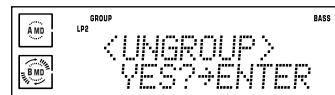
点滅

・ グループに登録されていない曲を選ぶと「GROUP－－ ?」が表示されます。

4 GROUP >>I（またはI<<）を押して解除したいグループを選ぶ

例：グループ3を選んだとき

点滅

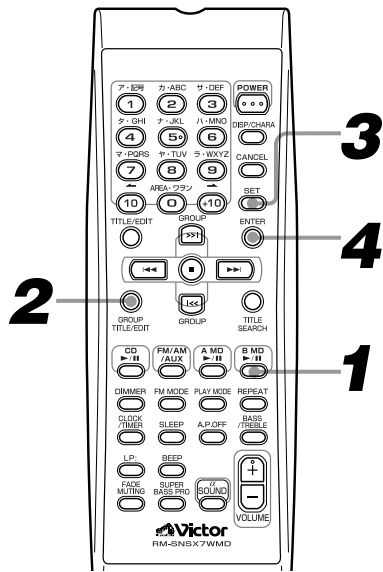
・選んだグループの1曲目からのくり返し演奏が始まります。

5 SETを押す

（UNGROUPを中止したいときは、GROUP TITLE/EDITボタンを押します）

6 ENTERを押す

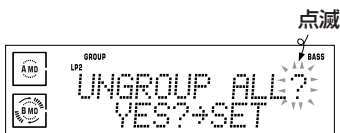
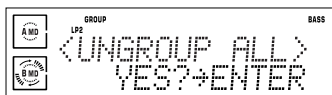
・「WRITING」が点滅表示され、指定したグループが解除されます。
曲は消去されません。

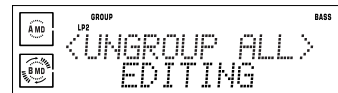
全グループを解除する(UNGROUP ALL) ー番号順に操作します。ー

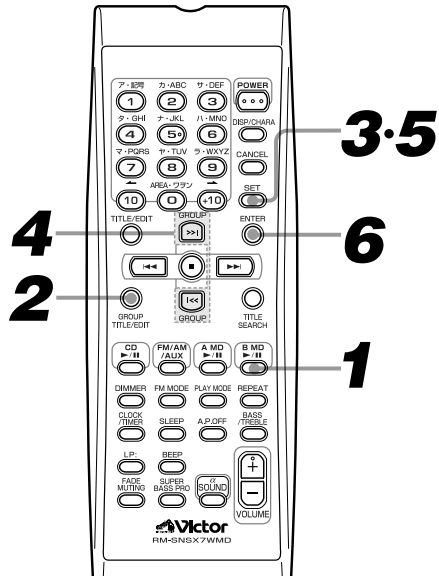
● MD内の全グループを解除します。曲は消去されません。

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD►/❚❚を押す

・ソース(音源)が「B MD」になり、1曲目からの演奏になります。

2 GROUP TITLE/EDITを数回押して「UNGROUP ALL?」を選ぶ

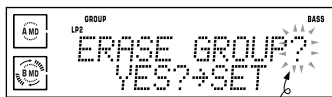
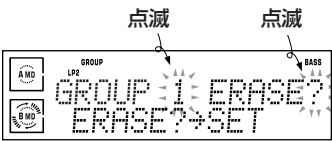
点滅

3 SETを押す

(UNGROUP ALLを中止したいときは、GROUP TITLE/EDITボタンを押します)

4 ENTERを押す

・「WRITING」が点滅表示され、全グループが解除されます。曲は消去されません。

選んだグループごと曲を消す(ERASE GROUP) —番号順に操作します。—

1 編集したいMDをB MDデッキに入れ、B MD▶/❚❚を押す

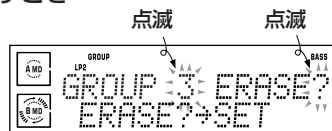
・ソース(音源)が「B MD」になり、1曲目からの演奏になります。
(曲の確認がしやすくなります)

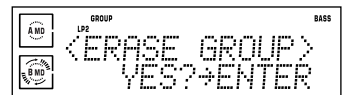
2 GROUP TITLE/EDITを数回押して「ERASE GROUP?」を選ぶ

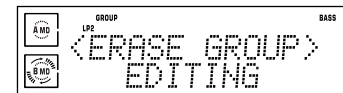
点滅

3 SETを押す

点滅　点滅

・グループに登録されていない曲のときは、「GROUP －－ ERASE?」表示になります。そのまま手順**4**へ進みます。

4 GROUP>>I(またはI<<)を押して消したいグループを選ぶ

例：グループ3を消すとき

・選んだグループ(グループ3の曲)がくり返し演奏になります。

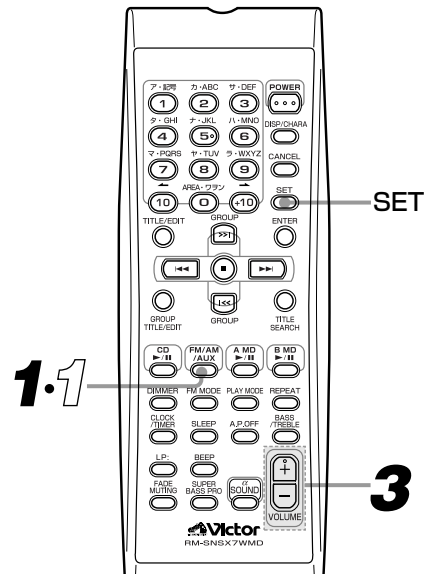
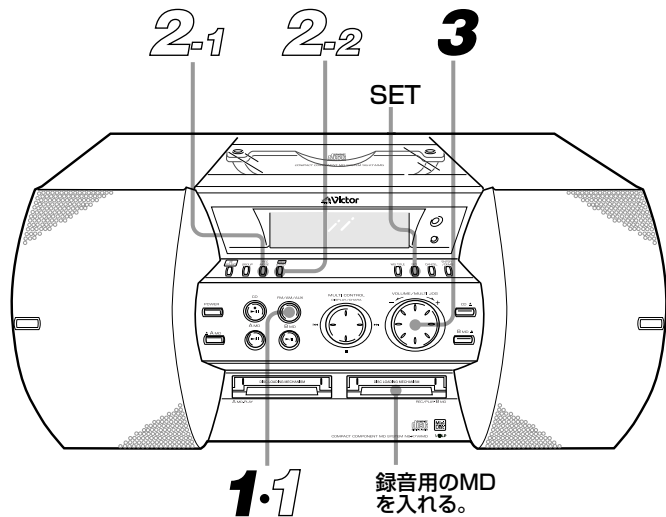
5 SETを押す

(ERASE GROUPを中止したいときは、GROUP TITLE/EDITボタンを押します)

6 ENTERを押す

・「WRITING」が点滅表示され、グループ3が消えます。グループ4が前につめられます。

〈お知らせ〉

- 一度消去すると録音内容は元には戻りません。
  大切な録音が入っているMDは誤消去防止つまみを開いた状態(➡8ページ参照)にしておいてください。
- 「ALL ERASE?(➡48ページ参照)」の操作で全曲をグループごと消すこともできます。

編集する

他の機器を使う（聞く/録音する） ー番号順に操作します。ー

● 他の機器の音声を聞く

背面のAUX IN端子にレコードプレーヤーなどを接続しておきます。➡13ページ参照

1 FM/AM/AUXを押して「AUX」を選ぶ

本　体

リモコン

・電源が入り、ソース（音源）が「AUX」になります。

2 接続した他の機器の演奏を始める

・詳しくは他の機器の取扱説明書をご覧ください。

3 VOLUMEで音量を調節する

本　体

・VOLUME 0 〜35までの範囲で調節できます。詳しくは17ページをご覧ください。

リモコン

・＋側を押すと音量が上がり、ー側を押すと下がります。

● 使い終わったら…

POWERボタンを押して電源を「切」にします。

● 他の機器の音声をMDに録音する

あらかじめ録音用のMDをB MDデッキに入れておきます。

1 FM/AM/AUXを押して「AUX」を選ぶ

・電源が入り、ソース（音源）が「AUX」になります。

2 録音状態にする

録音用のMDをB MDデッキに入れ…

録音モード（SP、LP2またはLP4)を選び…

録音を始める。

3 接続した他の機器の演奏を始める

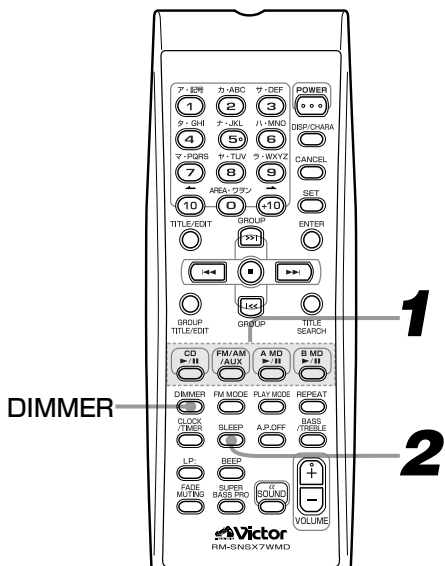
・詳しくは他の機器の取扱説明書をご覧ください。

・録音中に無音部分が3秒以上続くと、次に音が入力されたとき曲の変わり目として区切られ、曲番号（トラックマーク）が変わります。

・曲番号（トラックマーク）をつけるには
録音中にSETボタンを押すと、約4秒間「TRACK MARKING」が表示され曲番号（トラックマーク）が記録されます。

● 録音を途中でやめるときは

■（停止）ボタンを押します。

おやすみタイマー*(スリープ) ー番号順に操作します。ー

*おやすみタイマーとは…
テレビなどのオフタイマーと同じ機能で、指定の時間が経過すると自動的に電源を切ります。

● CDの演奏などを聞きながらおやすみになるには

1 聞きたい音声を出す

	操　　作
CDの演奏	CDを入れ、CD ▶/Ⅱボタンを押して演奏する。
MDの演奏	A MDデッキまたはB MDデッキにMDを入れ、A MD ▶/ⅡまたはB MD ▶/Ⅱボタンを押して演奏する。
放　送(ラジオ)	FM/AM/AUXボタンを押して聞きたい放送局を選局する。

2 リモコンのSLEEPを押して動作時間を選ぶ

・SLEEPが表示窓に表示され、10、20、30、60、90、120分のいずれかに設定できます。設定後４秒で設定前のソース(音源)表示に戻ります。このとき表示窓が自動で暗くなります(ディマー の状態)。

● おやすみタイマーがスタートし、指定の時間を経過すると電源が切れます。動作中はSLEEP表示が点滅します。

ご注意

● 本機の時計が設定されていないと、タイマー機能を利用することができません。
SLEEPボタンを押しても「CLOCK ADJUST!」が点滅表示され解除されます。事前に本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください。➡⑭ページ参照

● おやすみタイマーの動作時間の確認

・SLEEPボタンを押すと残り時間が確認できます。もう一度押すと再設定(時間の延長)ができます。
・DIMMERボタンを押すと、表示窓の明るさを変えることができます。

● おやすみタイマーを使っておやすみになり、翌朝、タイマー再生でお目覚めになるには

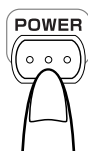
1. 目覚ましタイマーを設定する
➡64～65ページ参照
2. おやすみ時に聞きたい音声を出す
3. SLEEPを押して動作時間を選ぶ

● おやすみタイマーの音声と、タイマー再生の音声は任意に選べます。

例えば

おやすみタイマー	CDの演奏	放送(ラジオ)
タイマー再生	放送(ラジオ)	MDの演奏

ただし、両方とも放送(ラジオ)を選んだときは、おやすみ時の最後に聞いていた放送局を翌朝も聞くことができます。

● おやすみタイマーの取り消し

・POWERボタンを押して電源を切ると取り消されます。設定を解除するだけのときは、SLEEPボタンで「SLEEP OFF」を選び解除します。

目覚ましタイマー（タイマー再生） ー番号順に操作します。ー

● 好きな音楽によってお目覚めになることができます。

1 聞きたい音声を準備する
（電源「切」のときはPOWERボタンを押す）

CDの演奏	CDを入れておく。
MDの演奏	A MDデッキ（またはB MDデッキ）にMDを入れておく。
放　送（ラジオ）	FM/AM/AUXボタンを押して聞きたい放送局を選局しておく。

2 タイマー予約をする（➡65ページ参照）

①現在時刻を正しく合わせる。
②タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。
③タイマーモードを聞きたい音声に合わせる。
④タイマー動作中の音量を設定する。
・音量は任意に設定できます。

3 POWERを押して電源を「切」にする

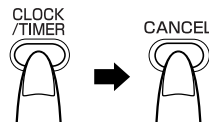
・「SEE YOU♪」が表示され電源が切れます。
・表示窓にタイマー表示（⏻）と現在時刻およびタイマーモードが表示されているか確認してください。

● 予約した開始時刻になるとタイマー再生が始まり、終了時刻で電源が切れます。
なお、電源が切れてもタイマー表示（⏻）は残ります。
次の日も同じ時刻、同じタイマー予約の内容で使うことができます。

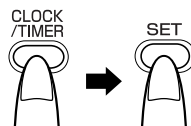
● 音量設定とフェードイン動作について

タイマー予約で音量を1～35に設定すると、タイマー再生スタート時に音量ゼロから設定した音量まで、自動的にボリュームが上がるフェードイン動作をします。
これをウェイクアップボリュームといいます。

● タイマー動作の取り消し

休日の前夜などに利用すると便利です。
リモコンのCLOCK/TIMERボタンを押したあとCANCELボタンを押します。「TIMER OFF」表示のあと解除されます。タイマー表示（⏻）が消灯します。

再設定するときは、リモコンのCLOCK/TIMERボタンを押したあとSETボタンを押してタイマー表示（⏻）を表示させます。

● タイマー予約の確認

タイマー表示（⏻）が表示されているとき

・CLOCK/TIMERボタンを押したあと、SETボタンを押します。

リモコンのCLOCK/TIMERボタンを押したあとSETボタンを押すと「開始時刻➡終了時刻➡タイマーモード➡音量」が表示されたあと、元のソース（音源）表示に戻ったら終わりです。

〈お知らせ〉
● タイマー再生の動作を途中でやめるときは、POWERボタンを押して電源を切ってください。
● タイマー再生でCDやMDのプログラム演奏をすることはできません。

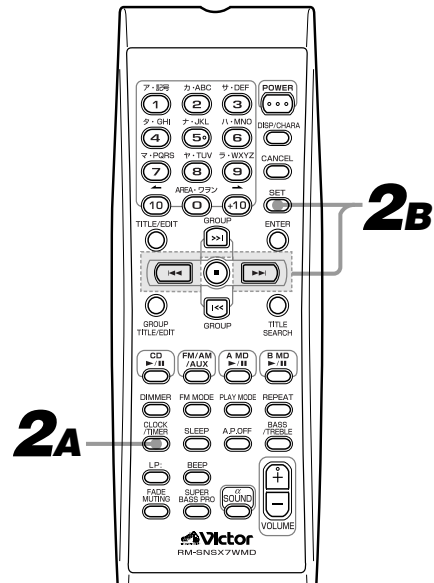
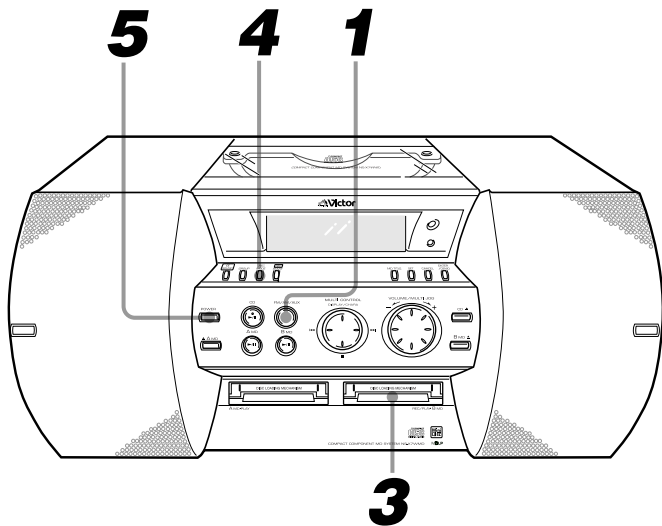
タイマー予約のしかた(予約内容を変更するときも同じです)　ー電源「切」でも設定できます。ー

次はタイマーモードを選びます。

● あとはタイマーモードに合わせ、必要な操作をします。
➡64ページ「目覚ましタイマー」または66ページ「録音タイマー」参照

〈お知らせ〉

● タイマー予約の内容は、一度設定するとメモリー(記憶)されます。変更するときは、上記の**2A**から操作をやり直してください。
  ただし、停電状態になるとメモリーは解除されます。
● 設定を間違えたり表示が変わってしまったときは…
  上記**2A**から操作をやり直してください。
● 設定の途中でリモコンのCANCELボタンを押すと、前の内容に戻ります。

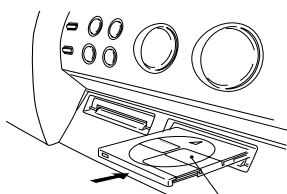
録音タイマー[放送(ラジオ)の留守録音] ー番号順に操作します。ー

● 外出中でも放送(ラジオ)の留守録音ができます。

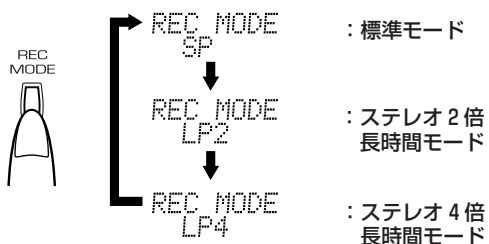
1 FM/AM/AUXを押して録音したい放送局を選ぶ

➡30ページ参照

2 タイマー予約をする(➡65ページ参照)

①現在時刻を正しくあわせる。
②タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。
③タイマーモードはTUNER(チューナー) B MD RECを選ぶ。
④タイマー動作中の音量を設定する。
・VOLUME 0 に設定しておくと、録音中の音はスピーカーからは出ません。

3 録音用のMDをBMDデッキに入れる

・「GROUP」表示が点灯していると、グループ録音することができます。

4 REC MODEを押して録音モードを選ぶ

5 POWERを押して電源を「切」にする

・「SEE YOU ♪」表示のあと電源が切れます。
・表示窓にタイマー表示(⏻ REC)と現在時刻および「TU REC TIMER」が表示されているか確認してください。

● 予約した開始時刻になると録音がスタートし、終了時刻で電源が切れます。

● 次の日も同じ時刻に同じ放送局をタイマー録音するときは…

リモコンのCLOCK/TIMERボタンを押したあとSETボタンを押してタイマー表示(⏻ REC)を表示させ、再設定します。

〈お知らせ〉

● タイマーの開始時刻と終了時刻は一度予約するとメモリー(記憶)されます。
時刻を変更したいときは、タイマー予約をし直してください。
● 停電状態になると、タイマー予約は取り消されます。
このようなときは、時計を合わせ直してからタイマー予約をしてください。

オートパワーオフ機能

本機には「ラジオ」以外のソース(音源)の無音状態が3分続くと、自動的に電源が「切」になるオートパワーオフ機能があります。操作は「ラジオ」以外のときにします。

● ソース(音源)が「ラジオ」以外のとき

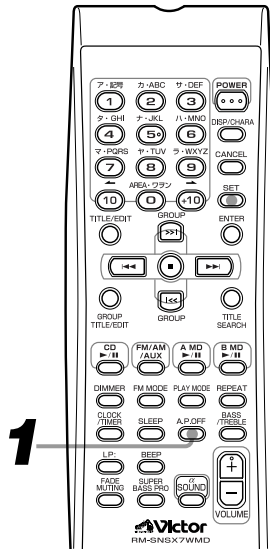
1 A.P.OFFを押す

・押すごとに「オン⟷オフ」に設定できます。

● オートパワーオフ機能を「オン」に設定すると
「A. P. OFF」表示が点灯になり、ソース(音源)が「CD、MD、AUX」のとき録音・再生が終わり無音状態になるとオートパワーオフ機能が動作します。このとき「A. P. OFF」表示が点滅に変わり、何も操作をせずに3分無音状態が続くと、自動的に電源が「切」になります。

・電源が「切」になる20秒前から

「切」になるまでの時間(カウントダウン表示)

が表示されます。

チャイルドロック機能

CDドアが開かないようにしたり、MDが出てこないように電子ロックすることができます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

1 POWERを押して電源を「切」にする

2 ■(停止)を押したままCD▲を押す

・同時に押すごとに「オン⟷オフ」が選べます。

LOCKED ：チャイルドロック「オン」(CDやMDの取り出しができなくなります)

UNLOCKED ：チャイルドロック「オフ」(お買い上げ時の状態です。CDやMDの取り出しができます)

● チャイルドロック「オン」に設定すると
CD▲、▲A MDまたはB MD▲を押すと「LOCKED」が表示され、CDやMDの取り出しはできません。また電源「切」のときに押しても電源「入」にはなりません。

エリアガイドの放送局一覧

● エリアガイドの放送局一覧
AM放送の場合、エリアガイド機能により地域ごとに下記の周波数が呼び出せます。

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	表示窓の表示とプリセットされている放送局の周波数(Pはプリセットのことです)								
			P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9
011,0123~0129 0131~0136 0141~0149	北海道	札幌	NHK1 567kHz	NHK2 747kHz	HBC 801kHz	HBC 864kHz	NHK1 945kHz	NHK2 1,125kHz	HBC 1,287kHz	STV 1,440kHz	*
0150~0152 0157~0159	北海道	網走 北見	NHK2 702kHz	NHK2 747kHz	HBC 801kHz	STV 909kHz	NHK1 1,188kHz	HBC 1,449kHz	STV 1,485kHz	NHK1 1,584kHz	*
0153~0156	北海道	釧路	NHK1 585kHz	NHK1 603kHz	STV 882kHz	STV 1,071kHz	NHK2 1,125kHz	NHK2 1,152kHz	HBC 1,269kHz	HBC 1,404kHz	*
0137~0139	北海道	函館	NHK1 567kHz	STV 639kHz	NHK1 675kHz	NHK2 747kHz	STV 882kHz	HBC 900kHz	HBC 1,269kHz	NHK2 1,467kHz	*
0160~0169	北海道	旭川	NHK1 621kHz	NHK2 747kHz	NHK1 792kHz	NHK1 837kHz	HBC 864kHz	NHK1 927kHz	STV 1,197kHz	NHK2 1,602kHz	*
0172~0179	青森	青森	NHK2 774kHz	NHK1 963kHz	NHK1 999kHz	RAB 1,233kHz	RAB 1,485kHz	*	*	*	*
018 0182~0189	秋田	秋田	NHK2 774kHz	ABS 936kHz	NHK1 1,503kHz	*	*	*	*	*	*
019 0190~0199	岩手	盛岡	NHK1 531kHz	IBC 684kHz	NHK2 774kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*
022 0220~0229	宮城	仙台	NHK1 891kHz	NHK2 1,089kHz	TBC 1,260kHz	*	*	*	*	*	*
023 0233~0239	山形	山形	NHK1 540kHz	NHK2 774kHz	YBC 918kHz	NHK1 1,368kHz	*	*	*	*	*
024 0240~0249	福島	郡山	NHK2 693kHz	NHK1 846kHz	RFC 1,098kHz	RFC 1,458kHz	*	*	*	*	*
025 0250~0259	新潟	新潟	NHK1 792kHz	NHK1 837kHz	BSN 1,062kHz	BSN 1,116kHz	BSN 1,530kHz	NHK2 1,593kHz	*	*	*
026 0260~0269	長野	長野	NHK1 540kHz	NHK1 621kHz	NHK2 693kHz	NHK1 819kHz	SBC 864kHz	SBC 1,098kHz	*	*	*
027 0270~0279	群馬	前橋	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	*	*	*	*
028 0281~0289	栃木	宇都宮	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	CRT 1,530kHz	*	*	*
029,0280 0290~0299	茨城	水戸	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	IBS 1,197kHz	ニッポン 1,242kHz	IBS 1,458kHz	*	*
03,042~048 0421~0499	東京、神奈川 千葉、埼玉	東京	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	AFN 810kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	ラジオニホン 1,422kHz	*	*
052,0521~0529 0531~0536	愛知	名古屋	NHK1 729kHz	NHK2 909kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	SBS 1,404kHz	GIFU 1,431kHz	*	*	*
053,054 0537~0549	静岡	静岡	NHK2 639kHz	NHK1 882kHz	SBS 1,404kHz	*	*	*	*	*	*
0551~0557	山梨	甲府	NHK2 693kHz	YBS 765kHz	NHK1 927kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	*	*	*
0550 0558~0559	静岡	沼津	NHK2 639kHz	NHK1 882kHz	SBS 1,404kHz	SBS 1,557kHz	*	*	*	*	*
058 0561~0589	愛知、岐阜	岐阜	NHK1 729kHz	NHK1 792kHz	NHK2 909kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	GIFU 1,431kHz	*	*	*
058 0592~0599	三重	津	NHK1 729kHz	NHK2 828kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	*	*	*	*	*
06 0720~0729	大阪	大阪	AM KOBE 558kHz	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*
073 0734~0739	和歌山	和歌山	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	WBS 1,431kHz	*	*	*

● ＊印の欄およびP10～P15には放送局がメモリーされておりません。お好きな放送局をご自分でプリセットすることができます。➡31ページ「放送局を選んで記憶させる」を参照
● 放送局名は表示窓に表示されます。

● エリアガイドの放送局一覧

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	表示窓の表示とプリセットされている放送局の周波数(Pはプリセットのことです)								
			P１	P２	P３	P４	P５	P６	P７	P８	P９
075 0740~0759	京都 奈良、滋賀	京都	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*	*
076 0761~0762	石川	金沢	MRO 1,107kHz	NHK1 1,224kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*	*
0763~0766	富山	富山	NHK1 648kHz	KNB 738kHz	NHK2 1,035kHz	*	*	*	*	*	*
0760 0767~0769	石川	七尾	NHK1 540kHz	MRO 1,107kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*	*
077 0771~0775	京都、滋賀	大津	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	KBS 1,215kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*
0770 0776~0779	福井	福井	FBC 864kHz	NHK1 927kHz	NHK2 1,521kHz	*	*	*	*	*	*
078 0790~0799	兵庫	神戸	AM KOBE 558kHz	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*	*
082、0823~0826 0828~0829	広島	広島	NHK2 702kHz	NHK1 1,071kHz	RCC 1,350kHz	*	*	*	*	*	*
083 0832~0839 0820、0827	山口	山口	NHK1 675kHz	KRY 765kHz	KRY 918kHz	NHK2 1,377kHz	AFN 1,575kHz	*	*	*	*
0840~0849	広島	尾道	NHK1 999kHz	RCC 1,530kHz	NHK2 1,602kHz	*	*	*	*	*	*
0851~0856	島根	松江	BSS 900kHz	NHK1 1,296kHz	BSS 1,431kHz	NHK2 1,593kHz	*	*	*	*	*
0857~0859	鳥取	米子	BSS 900kHz	NHK1 963kHz	NHK2 1,125kHz	NHK1 1,368kHz	BSS 1,431kHz	*	*	*	*
086 0863~0869	岡山、広島	岡山	NHK1 603kHz	NHK2 1,386kHz	RSK 1,494kHz	*	*	*	*	*	*
087 0875~0879	香川	高松	NHK2 828kHz	NHK2 1,035kHz	NHK1 1,368kHz	RNC 1,449kHz	*	*	*	*	*
0883~0886	徳島	徳島	NHK2 828kHz	NHK1 945kHz	JRT 1,269kHz	*	*	*	*	*	*
0880 0887~0889	高知	高知	RKC 900kHz	NHK1 990kHz	NHK1 999kHz	NHK2 1,152kHz	RKC 1,197kHz	*	*	*	*
089 0892~0899	愛媛	松山	NHK1 846kHz	NHK1 963kHz	Nancy 16 1,116kHz	NHK2 1,512kHz	*	*	*	*	*
092、093 0930、0940~0949	福岡	福岡	NHK1 612kHz	NHK2 1,017kHz	RKB 1,278kHz	KBC 1,413kHz	*	*	*	*	*
0951~0955	佐賀	佐賀	NHK1 612kHz	NHK2 873kHz	NHK1 963kHz	RKB 1,278kHz	KBC 1,413kHz	NBC 1,458kHz	*	*	*
0950、095、0920 0956~0959	長崎	長崎	NHK1 684kHz	NHK2 873kHz	NHK1 981kHz	NBC 1,098kHz	NBC 1,233kHz	*	*	*	*
096 0964~0969	熊本	熊本	NHK1 756kHz	NHK1 846kHz	NHK2 873kHz	RKK 1,197kHz	NHK1 1,341kHz	*	*	*	*
097 0972~0979	大分	大分	NHK1 639kHz	OBS 1,098kHz	NHK2 1,467kHz	*	*	*	*	*	*
0982~0987	宮崎	宮崎	NHK1 540kHz	NHK1 621kHz	NHK2 873kHz	MRT 936kHz	OBS 1,098kHz	NHK2 1,467kHz	*	*	*
098、0980 0988~0989	沖縄	那覇	NHK1 540kHz	NHK1 549kHz	AFN 648kHz	RBC 738kHz	ROK 864kHz	NHK2 1,125kHz	*	*	*
099 0991~0999	鹿児島	鹿児島	NHK1 576kHz	NHK1 792kHz	MBC 1,107kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*

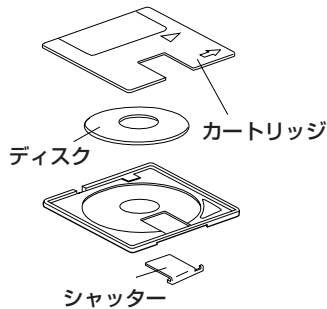
〈お知らせ〉

● 市外局番が変更になったときは、変更前の市外局番を入力してください。

MDの技術解説

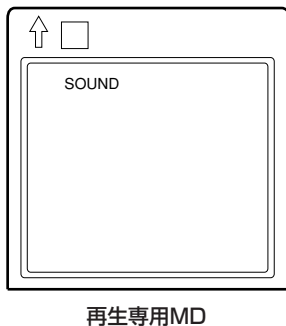
MD-80使用で80分の再生または録音ができる直径64㎜のディスクを使った新しいデジタルオーディオ、それがMDです。

カートリッジのはたらき

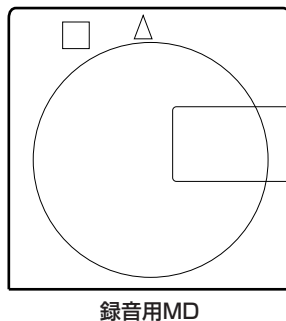
ディスク自体の直径は、8センチCDよりも小さな64㎜。このディスクがカートリッジの中に収められています。カートリッジの大きさも、68×72㎜、厚さ5㎜のポケットサイズ。持ち運びや収納がとてもラクです。また、カートリッジに守られているのでほこりやゴミがつきにくく、しかも、使用中のとき以外は閉じているシャッターのおかげで、ディスクにキズや指紋をつける心配もありません。取り扱いがたいへん手軽です。

2種類のディスク

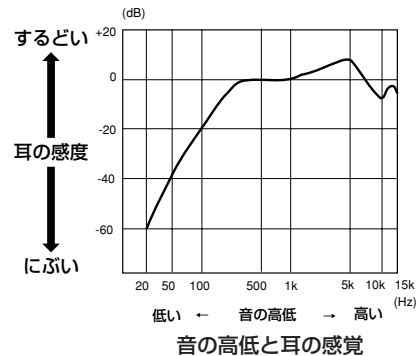
MDには、録音できる「録音用MD」と再生しかできない「再生専用MD」との2種類のディスクがあります。再生のしかたは、どちらのディスクも、レーザー光を照射しその反射によって信号を読み取るという同じ方式ですが、記録のしかたが異なります。

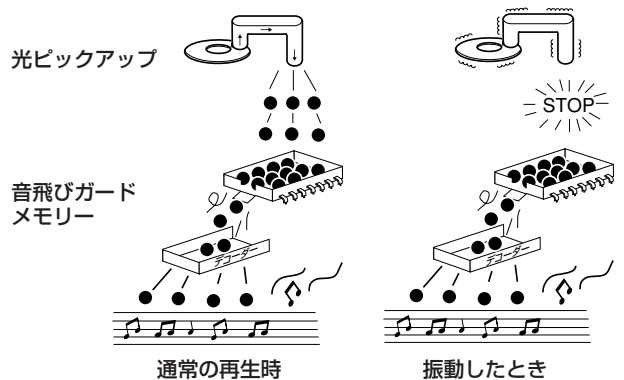
再生専用MD
市販のMDソフトに使用されているタイプです。録音はできません。CDと同様、ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」といいます。

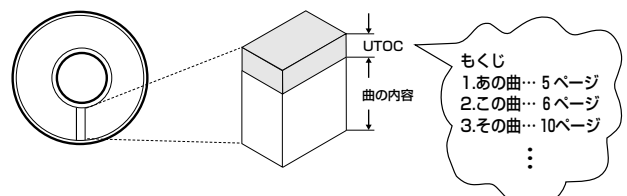
再生専用MD

録音用MD
自分で録音することのできる、いわゆる「生MD」です。何度も録音しなおせるように、加工しやすい磁気によってデータが記録されます。レーザー光をあてて熱することにより磁気を消し、そこに磁気ヘッドで記録していきます。このような記録方式のディスクを〔光磁気(MO：Magneto(マグネット) Optical(オプティカル))ディスク〕といいます。

録音用MD

ATRAC(Adaptive Transform Acoustic Coding(アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング))

音の中には、実際にはよく聴こえない音が混ざっています。例えば、音が小さいときは低音や高音は聴こえにくくなります。また、大きい音と同時または直後に小さい音が鳴ってもその音は聴こえません。MDでは、〔ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding)〕という技術を使って、こうした人間の聴感特性に基づき音を取捨選択することによりデータを小さく圧縮しています。この技術により、記録するデータは元のデータの約1/5の量になり、小さなMDにも収めることが可能となりました。さらにATRAC 3の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

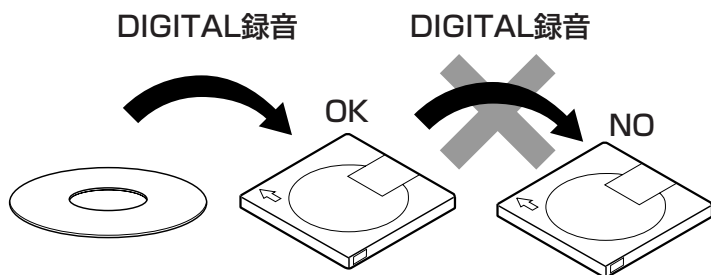
音の高低と耳の感覚

音飛びガードメモリー

MDを再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能「音飛びガードメモリー」が働いています。この機能により、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合に「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。

UTOC(User Table of Contents(ユーザー テーブル オブ コンテンツ))

録音用MDには、曲の内容とは別に、「目次(UTOC)」があります。これは、各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。また、編集のときは、この「目次(UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

デジタル録音のきまり（SCMS）

CDからデジタル信号のままデジタル録音したMDには、著作権保護のため次のような決まりがあります。

SCMS（Serial Copy Management System）

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のままでコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

■私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
電　　話　03-5353-0336（代）

〈お知らせ〉
- 本機を使ってCDの音をデジタル録音したMDは、本機や他の機器でデジタルコピーすることはできません。
- デジタル録音したCD-R/CD-RWディスクは、MDにデジタル録音することができません。「SCMS CANNOT COPY」が表示され、アナログで録音されます。

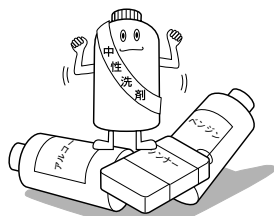
倍速録音の制限について

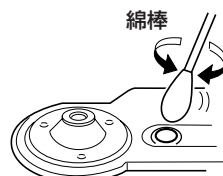
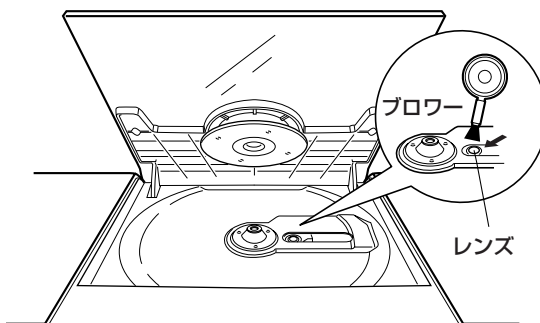
- 本機は、CDを倍速でMDに録音（コピー）することができます。このため著作権を保護するための規制が設けられています。つまり一度録音したCDの曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、再録音（倍速または等速録音）はできないようになっています。
  例えば、8センチCDの1曲目を何回もプログラムして倍速録音するという使いかたは、できません。「HCMS CANNOT COPY」と表示され、そのあと録音が解除されます。
  またCDからMDに倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で101曲以上録音することはできません。100曲までの録音ができます。

お手入れ

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

お願い
- **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

CDプレーヤーのレンズの清掃

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。CDドアを開け、図のようにレンズを清掃してください。
- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使ってゴミをはき出してください。

- 万一、指紋などが付いているときは綿棒で軽くふいてください。

故障かな?と思う前に

ーおや?故障かな?と思ったら…
修理に出す前にもう一度お確かめください。ー

症状		原因	処置・確認のしかた	参照ページ
共通部	音がでない。	・ヘッドホンがつながれている。	・ヘッドホンのプラグを抜く。	13
	表示窓の時刻表示が点滅している。	・1分以上の停電があったため。または電源コードを抜いたため。	・時計合わせやタイマーの予約をし直す。	14
CDプレーヤー部	演奏が始まらない。	・CDが裏返しに入っている。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。	18
		・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。	7
	特定の個所が正常に演奏できない。	・CDにキズがある。	・CDを交換する。	•
MDレコーダー部	演奏が始まらない。	・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。	7
	録音ができない。	・MDが誤消去防止状態になっている。(DISC PROTECTEDが表示)	・MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にする。	8
	編集操作ができない。	・再生専用のMDが入っている。	・録音用のMDを入れる。	•
チューナー部	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	・アンテナが接続されていない。	・アンテナを接続し、最も受信状態が良い所に設置する。またはアンテナの設置場所を変える。	12
		・テレビやOA機器がそばにある。	・テレビやOA機器などから離す。	•
タイマー部	タイマーがスタートしない。	・現在時刻が合っていない。	・正しい時刻に設定し直す。	14
		・タイマー表示(⏻)が表示されていない。	・CLOCK/TIMERボタンを押してタイマー表示(⏻)を表示させ、再設定する。	64
リモコン	リモコン操作ができない。	・リモコンの乾電池が消耗している。	・新しい乾電池(単3形)と交換する。	11
		・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	・直射日光や照明器具などの強い光が当たらない状態にする。	11

● 上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、5分程度待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

「ERROR!」が表示されたときは

● 表示窓に「ERROR!」が表示されたときは、本機の故障です。電源を「切」にしてから電源コードを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りにビクターサービス窓口に修理を依頼してください。

お願い

● 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。
● 本機の故障または不具合等により録音、MDおよびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

●MD(ミニディスク)のメッセージ表示一覧

メッセージ	意　　味	処　　置
READ ERROR	MDが異常(損傷している)。	MDを取り換える。
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲または8秒以下の短い曲をつなげようとした。	8秒以下の短い曲はつなげません。これはMDのシステム上の制約です。
	離れているグループをつなげようとした。	➡57ページ参照
LOAD ERROR	MDの挿入がうまくできなかった。	⏏A MDまたはB MD⏏ボタンを押したあとMDを入れ直す。
BMD DISC FULL	MDの空き時間が足りない。 曲番号が254を超える。 (254曲まで録音可能)	他の録音用MDと取り換えてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■(停止)ボタンでいったん停止してから操作しなおしてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	CD-ROM(ビデオCDなど)をデジタルダビングしようとした。	録音を中止してください。
BMD PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDと取り換えてください。
GROUP TRACK	すでにグループに登録されている曲を選んでグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでグループを作る。➡54ページ参照
CANNOT ENTRY	すでに登録されているグループに登録しようとした。	登録先のグループを正しく選ぶ。➡55ページ参照
CANNOT TITLE	MDにトータル1792文字を超えて入力しようとした。	これ以上のタイトル入力はできません。
CANNOT GROUP	グループに関する情報量の制限を超えている。	これ以上のグループは作れません。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
CANNOT FORM	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように、正しく曲を選んでください。➡54ページ参照
AMD RANDOM CANNOT REC!	A MDがランダム演奏のモードのとき録音しようとした。	ランダム演奏のモードでの録音はできません。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再録音しようとしたため。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待ってから録音してください。➡71ページ参照

●CDのメッセージ表示一覧

メッセージ	意　　味	処　　置
CD DOOR ERROR	CDドアが障害物などで正しく開いていません。	もう一度、CD⏏ボタンを押してCDドアを閉めてから障害物を取り除いてください。
CD CANNOT PLAY	演奏できないCDまたはキズの多いCDを演奏しようとした。	ディスクを交換してください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

コンパクトコンポーネント**MD**システムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または75ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

72ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　　ー

別売アクセサリー

・ヘッドホン：**HP-F300C**（ダイナミック型）
・フォノイコライザー：**AC-S100J**
・フルオートプレーヤー：**AL-E350**（MM型カートリッジ）
・オーディオミキサー：**MI-A40**
・電源コード：**CN-325A**（長さ1.8m）
・整合器：**VZ-71A**（75Ω／300Ω）
　VZ-74A（300Ω）
・接続コード：**CN-201A**（AUX IN端子の接続用）
　CN-203A
・クリーニングキット：**CK-25**（CD用）
・CDレンズクリーナー：**CL-CDL**
・MDレンズクリーナー：**CL-ML**
・FMフィーダーアンテナ：**CN-511A**（300Ω）

■別売りアクセサリーはお買い上げの販売店でお求めください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋 S.C	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮 S.C	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸 S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター（松江・米子担当）	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡	福岡 S.C.	(092)-431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S	(0942)-39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S	(0982)35-7707	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1201

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 ―本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。―

〈CDプレーヤー部〉

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz

〈MDレコーダー部〉

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間	録音モードSP ： 80分 LP2 ：160分 LP4 ：320分 (MD80使用)
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3（MD **LP**）方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz

〈チューナー部〉

受信周波数	FM：76.0MHz～108.0MHz AM：531kHz～1,629kHz
アンテナ	FM：75Ω不平衡型 AM：ループアンテナ

〈タイマー部〉

タイマー形式	1日1動作（オン・オフタイマー）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120分（ディマー機能付）
時計表示	24時間表示

〈共通部〉

スピーカー	9㎝（丸形×2）、4Ω
入力端子	AUX（ステレオミニ×1）、500mV 入力インピーダンス49kΩ
出力端子	PHONES（ステレオミニ×1）、 25mW/32Ω 適合インピーダンス16Ω～1kΩ
実用最大出力	6W＋6W（EIAJ/AC）
電源	AC100V（50Hz/60Hz共用）
消費電力	電源 入（ON）時30W 切（STANDBY）時3W
最大外形寸法	幅460㎜×高さ208㎜×奥行251㎜
質量	約6.4㎏

● EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。

・本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

・リモコン（RM-SNSX7WMD）……………………… 1
・単3形乾電池（リモコン動作確認用）……………… 2
・電源コード（長さ1.5m） …………………………… 1
・FM簡易型アンテナ ………………………………… 1
・AMループアンテナ ………………………………… 1

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理の依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
75ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**東京…☎(03)5684-9311** **FAX(03)5684-9317** 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル **大阪…☎(06)6765-4161** **FAX(06)6765-4891** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターインターネットホームページアドレス http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎(027)254-8952

0202 MOMOZKJEM